

「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」の策定に伴うパブリックコメント実施結果と主な変更について

1 概要

新百合ヶ丘駅北側地区のより魅力的な広域拠点の形成に向けて、交通環境の改善や公共施設の建替えなどのまちづくりを進めていく上での考え方を示し、官民連携により取組を推進していくために、「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」（案）を取りまとめ、パブリックコメント手続きを実施し、市民の皆様からの御意見を募集しました。

その結果、153通(意見件数399件)の御意見をいただきましたので、御意見等の内容とそれに対する市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

題名	「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」（案）に関する意見募集について
意見の募集期間	令和7年12月15日（月）～令和8年1月19日（月）
意見の提出方法	郵送、持参、FAX、電子メール等
意見募集の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だより（令和8年1月1日号掲載） ・ 市ホームページ ・ 資料の閲覧（かわさき情報プラザ、各区役所市政資料コーナー、支所・出張所、川崎市アートセンター、教育文化会館、図書館（本館/分館）、市民館（本館/分館）、まちづくり局市街地整備部地域整備推進課） ・ イベント会場での出展（川崎市アートセンターまちなかラウンジ（令和7年12月19日）、しんゆりフェスティバルマルシェ（令和7年12月20日）） ・ 新百合ヶ丘駅周辺の町内会の回覧板
意見の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市ホームページ ・ 資料の閲覧（かわさき情報プラザ、各区役所市政資料コーナー、支所・出張所、川崎市アートセンター、教育文化会館、図書館（本館/分館）、市民館（本館/分館）、まちづくり局市街地整備部地域整備推進課）

3 意見募集の結果

意見提出数（意見件数）	153通（399件）
内 訳	
郵送	4通（13件）
持参	2通（11件）
FAX	10通（28件）
電子メール	80通（206件）
その他（イベント会場等）	57通（141件）

4 御意見の内容と対応

(1)実施結果

ア 実施期間:令和7年12月15日(月)～令和8年1月19日(月)

イ 意見総数:153通 399件

ウ 意見の対応区分:

項目	A	B	C	D	E	計
1 まちづくり全般について	2	68	2	13	0	85
2 土地利用について	0	48	10	3	0	61
3 交通体系について	0	93	5	20	1	119
4 都市環境について	1	31	9	3	0	44
5 公共施設について	0	21	33	11	0	65
6 横浜市高速鉄道3号線について	0	9	0	5	0	14
7 その他	0	0	0	4	7	11
合計	3	270	59	59	8	399

【対応区分】A:意見を踏まえ、反映したもの B:意見の趣旨が案に沿ったもの C:今後の参考とするもの

D:質問・要望で、案の内容を説明するもの E:その他

(2)主な意見と本市の対応

ア 主な意見

基本的考え方全般について賛同する意見や、基本的考え方に基づく取組の推進を求める意見などが寄せられました。

イ 本市の対応

新百合ヶ丘のまちづくりにおける今後の市民意見募集等に関する御意見を踏まえ、引き続き意見募集を行う旨の文章の加筆や、専門用語の解説を追記する等の必要な時点修正を行った上で、「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」を策定します。

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	<p>新百合ヶ丘の現状を踏まえ、官民敷地一体的な活用による、新たな都市基盤の考え方・土地利用の考え方に賛同する。 (他同趣旨15件)</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
2	<p>駅北口から世田谷町田線までを一体的に大街区化してまちづくりしてほしい。(他同趣旨4件)</p>	<p>本基本的考え方においても、駅北口から世田谷町田線までを一体的に考え、都市基盤や土地利用の考え方をお示ししておりますので、引き続き、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
3	<p>駅南口の賑わいに対して、駅北口は道路が狭く老朽化建物が多く課題がある。 駅北口を整備することにより、駅南口と融合した交流的な街づくりが期待できる。(他同趣旨4件)</p>	<p>本基本的考え方でお示した都市基盤や土地利用の考え方を踏まえつつ、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、駅南北の連携を強化し、駅周辺の回遊性の促進を図るなどにより、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
4	<p>市民意見を丁寧に聴取した進め方のプロセスは素晴らしい。(他同趣旨2件)</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
5	<p>大街区化の範囲について、駅前広場に面して再開発ビルを建設し、各施設や区役所等を収容していく方が最小限の範囲での再開発になる。 人口減少、高齢化、地域の規模などの社会経済状況やまちの勢いの継続性等を総合的に勘案するとあまり大きな範囲を対象にしない方がよい。</p>	<p>今後のまちづくりの進め方につきましては、現在のところ事業手法などの具体的なことは決まっていない状況ですが、今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、駅徒歩圏に、高密度かつ多様なニーズに対応した様々な都市機能が集積することにより、相乗効果を生み出し、駅周辺の活動や交流が促進され、持続的に発展するまちをめざし、検討を深度化してまいります。</p>	D

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
6	<p>駅北側地区は将来的に良くなるが、南側地区が置き去りにならないように、各施設、交通広場、デッキ等含めて機能更新を行政は促進すべき。</p>	<p>「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、まちづくりを牽引する土地利用の誘導を図るべきエリアとして、駅至近の「高度利用されていない大規模な土地」等を中心に戦略的誘導エリアに指定し、当該エリアを中心とした効率的・効果的なまちづくりを推進することとしています。</p> <p>戦略的誘導エリアの検討にあたっては、駅北側の交通環境の改善に向けた早急な対応が必要なことから、駅北側から先行的に検討することとしています。駅南側についても、横浜市高速鉄道3号線延伸の進捗状況を踏まえながら検討を進めていくこととしています。</p>	D
7	<p>新百合ヶ丘のまちの魅力向上を図り、市北部の新しいシンボルにしてほしい。</p> <p>駅北側地区が新しく魅力あるものになったら、それに連鎖するように駅周辺地区などまち全体が活性化していくことを期待する。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、子育て世代や若者・高齢者等の様々な世代の交流の促進等、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積や、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実等の検討を進め、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
8	<p>横浜市高速鉄道3号線が完成するまでに駅北側のまちづくりを完了させてほしい。</p>	<p>駅北側のまちづくりについては、本基本的考え方を基に、駅北側の交通環境を改善する都市基盤整備や高経年化した区役所等の建替え、にぎわいや魅力を創出する都市機能誘導など、本市の広域拠点にふさわしいまちづくりに向けて、具体的なスケジュールも含め、検討を深度化してまいります。</p> <p>なお、横浜市高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄3号線）の延伸については、広域的な鉄道ネットワークの形成とともに、本市北部地域の一層のアクセス性、利便性の向上や地域の活性化など、持続可能なまちの発展に寄与する大変重要な事業であることから、横浜市と連携しながら、早期の鉄道事業許可取得に向けた国等関係機関との協議調整に取り組んでまいります。</p>	D

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
9	<p>ペDESTリアンデッキ下の階に店舗があると人の流れができ、にぎわいが生まれると思う。</p>	<p>本基本的考え方において「歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークブルな歩行空間の整備」を掲げており、建物低層部についても、民間活力を活かしたにぎわい機能の誘導による「駅とまちをつなぐ歩いて楽しい『人』中心のウォークブルな駅前空間」の形成をめざして検討を進めてまいります。</p>	D
10	<p>官民敷地の一体的な活用による大街区化により、抜本的な交通環境の改善を図ること、および魅力的な都市機能の集積を図りつつ、人々がにぎわう緑豊かなオープンスペースを確保するというまちづくりの基本的な考え方を支持する。 長期的視野に立ったまちづくりに期待する。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、将来を見据えたまちづくりを進めてまいります。</p>	B
11	<p>駅南北の格差がなくなり、利便性が向上する北口の開発に賛成する。(他同趣旨2件)</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。 なお、今後のまちづくりの進め方につきましては、現在のところ事業手法などの具体的なことは決まっていない状況ですが、今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、官民連携したまちづくりに向け、地権者との意見交換の実施や効果的な事業手法などの検討を進めてまいります。</p>	B
12	<p>「文化・芸術のまち」を作り上げた昭和音大・日本映画大にも頑張ってもらいたい。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、芸術・文化の薫りがする広域拠点の形成に向けて、昭和音楽大学や日本映画大学などの新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術・文化施設を活かしながら、多様な主体が連携することで、豊かな芸術・文化を核として地域活性化や地域ブランド化をめざす「しんゆり・芸術のまち」に向けた取組を推進します。</p>	B
13	<p>駅前の活性化と新百合ヶ丘エリアのランドマークとなるような街づくりをしてほしい。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、子育て世代や若者・高齢者等の様々な世代の交流の促進、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積や、新百合ヶ丘の魅力(芸術・文化、緑、地域活動等)を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めてまいります。</p>	B

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
14	麻生区役所は新百合ヶ丘における顔の1つだと思うので、駅前を含めた一体整備は、新たな賑わい創出に必ずや寄与するものだと考える。	本基本的考え方でお示しした駅北口から世田谷町田線までを一体的に捉えた都市基盤や土地利用の考え方を踏まえつつ、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。	B
15	新百合ヶ丘がさらに安全・安心な街となり、ステータスが向上することを願っている。	本基本的考え方を基に、引き続き、安心・安全で利用しやすい歩行者空間の形成等、都市の魅力を高める都市環境の整備や、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めてまいります。	B
16	駅北側地区の新たな賑わいに期待する。	本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出等に向けて取組を進めてまいります。	B
17	賑わいの創出と渋滞の解消をしてほしい。	本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、駅周辺の交通環境を改善する駅アクセス等の整備や広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出等に向けて取組を進めてまいります。	B
18	駅北側地区のまちづくりにより、駅周辺の魅力が向上し、他の地域からの来訪者が増加することを期待する。	本基本的考え方を基に、引き続き、子育て世代や若者・高齢者等の様々な世代の交流の促進等、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積や、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を活かした人を呼び込む機能の充実等の検討を進めてまいります。	B
19	アートセンターにデッキを接続するなら、アートセンターの工事の時期に合わせれば効率的になる。	今後のまちづくりの進め方につきましては、現在のところ事業手法などの具体的なことは決まっていない状況ですが、今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、官民連携したまちづくりに向け、地権者や関係者との意見交換の実施や効果的な事業手法などの検討を進めてまいります。	D

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
20	街の個性である「芸術・緑」を大切にしつつ、都市基盤が更新されることを楽しみにしている。	本基本的考え方でお示した都市基盤や土地利用の考え方を踏まえながら、引き続き、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めてまいります。	B
21	アートセンターで実施している「しんゆりまちなかラウンジ」が、アートセンター以外の新百合ヶ丘の各所にも波及してほしい。	「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、まちづくりを継続していく仕組みづくりについて、「駅周辺の大学などと連携を図りながら、学生や若者がまちに主体的に関わる仕組みづくり」や「地域住民等の主体的な地域活動等」等に関する取組を掲げているところです。 引き続き、本方針及び本基本的考え方を基に、市民の皆様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。	B
22	文化・芸術施設、大学等の立地やマルシェ等のイベント実績を活かし、これらを楽しんだ後の余韻を味わえるよう、飲食店、憩いの場の設置等の検討を進めて欲しい。	本基本的考え方を基に、引き続き、子育て世代や若者・高齢者等の様々な世代の交流の促進、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積や、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化等）を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めてまいります。	B
23	緑の再生、楽しい駅前広場など色々と考えてほしい。	本基本的考え方でお示した都市基盤や土地利用の考え方を踏まえながら、引き続き、新百合ヶ丘の魅力（緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実や広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出等に向けて取組を進めてまいります。	B
24	老朽化した区役所などを高度利用して交通環境を整備し、コンパクトシティとして、アクセス性、経済性、防災性、地域資源などが進展することを期待する。	本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。	B
25	新百合ヶ丘エリア全体の活性化に持続的に寄与するようなまちづくりを進め、新百合ヶ丘が単なる郊外型（ベッドタウン型）拠点から脱皮し、文化・芸術や緑という強みを活かした個性あふれる街になることを期待している。	本基本的考え方を基に、引き続き、子育て世代や若者・高齢者等の様々な世代の交流の促進、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積や、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めてまいります。	B

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
26	にぎわい核の強化は大事と考える。	「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」のまちづくりの方針図の都市機能の方針に掲げる「にぎわい核の強化」に向けて検討を進めておりますので、引き続き、本基本的考え方を基に、様々な機会を捉え、市民の皆様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。	B
27	再開発の範囲をもっと広範囲にしてほうがよい。 駅北口周辺の私有地をもっと含んだほうがよい。	駅北側周辺は、低未利用地が点在し土地の高度利用等による都市機能の集積が図られていない状況にあることから、駅北側の一部エリアについて、駅周辺のまちづくりを牽引する土地利用を誘導すべきエリアとしてに位置づけ、まちづくりの検討を先行して進めているところです。 今後のまちづくりの進め方につきましては、現在のところ事業手法などの具体的なことは決まっていない状況ですが、今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、官民連携したまちづくりに向け、地権者との意見交換の実施や効果的な事業手法などの検討を進めてまいります。	D
28	本案において、駅周辺を市北部の広域拠点として位置づけ、商業・業務・文化機能の集積とともに、交通結節機能の強化を図る方向性が示されている点については、適切な認識であると感じる。特に、駅前空間の制約や交通混雑、高経年建物の存在など、現状の課題を踏まえた再編の必要性が明確に整理されている点に賛同する。	本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。	B
29	計画の進め方については、できるだけ多くの市民の意見を聞いてほしい。	本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。 なお、御意見を踏まえ、本基本的考え方において、引き続き、検討の深度化に向けて、市民の皆様からの御意見を伺う旨の記載を追記するとともに、本市ホームページにおいても今後も継続して意見募集してまいります。	A

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
30	<p>民間資本を導入する場合は、利益優先にならないよう管理・指導してほしい。</p>	<p>本基本的考え方につきましては、より魅力的な広域拠点の形成につながる取組を官民連携により推進していくこと等を目的として作成しておりますので、引き続き、本基本的考え方を基に、様々な機会を捉え、市民の皆様の意見を伺いながら、官民連携し、適切な土地利用を誘導してまいります。</p>	D
31	<p>駅近のマンションは、高齢化の進展により、建設が終わる時期には売れない可能性があるため反対である。 駅周辺にオフィスを構えやすくしたり、他の地区に研究所・工場などができれば、市税も増えるので、「平日の日中人口を増やす」「企業を集める」をコンセプトに書いたほうがよい。40～50年の麻生区全体も考えた計画にしていきたい。</p>	<p>今後のまちづくりの進め方につきましては、現在のところ事業手法などの具体的なことは決まっていない状況ですが、本基本的考え方でお示した、様々な都市機能が集積することで相乗効果を生み出し、駅周辺の活動や交流が促進され、持続的に発展するまちをめざして、商業機能、業務機能、居住機能等の異なる種類の都市機能が融合した土地利用の誘導を検討してまいります。 また、昼間人口の誘導に向けても、商業店舗への安定的な需要を生み出す業務機能、オフィスワーカーへの職住近接環境の提供や商業店舗への購買力の提供に向けた居住機能の誘導を図るなど、引き続き、本基本的考え方を基に、官民連携し、適切な土地利用を誘導しながら、市北部の広域拠点にふさわしい、将来を見据えたまちづくりを進めてまいります。</p>	D
32	<p>麻生区らしさとは、華やかさだけでなく人に優しく、時間をかけて関係を育てていく姿勢にあると感じている。駅北口が文化芸術と共生を軸に、すべての世代と多様な立場の人々に開かれた街として発展していくことを願っている。</p>	<p>「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」のまちの将来像に掲げる「多様な人々が集うまち」をめざす取組の一つとして、新百合ヶ丘の魅力(芸術・文化、緑、地域活動等)を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めているところで、引き続き、本基本的考え方を基に、市民の皆様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
33	<p>本案では、抜本的な交通環境の改善とともに、多様な都市機能の集積等、将来を見据えたまちづくりをめざすということなので、駅北側の賑わいの醸成に期待している。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
34	官民連携した次世代のまちづくりに期待している。 新百合ヶ丘は都心からのアクセス性・良好な住環境・駅周辺の商業集積など、まちのポテンシャルは高いと感じているので、小田急沿線を代表する街になることを期待している。	本基本的考え方を基に、引き続き、子育て世代や若者・高齢者等の様々な世代の交流の促進等、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積や、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を活かした多様な人々等に選ばれるまちとして効果的な機能の充実等の検討を進めてまいります。	B
35	住民の方々が「住むなら新百合ヶ丘をお勧めしたくなる」ような街がよい。新百合ヶ丘という名前の響きは独特のブランドを感じる。大事にしたい。		B
36	駅北側地区が持つ文化・芸術の資源を、より積極的にまちづくりの核として位置づけていただきたいと考える。	本基本的考え方において、芸術・文化の薫りがする広域拠点の形成に向けて、駅周辺に集積する芸術・文化施設を活かしながら、多様な主体が連携することで、豊かな芸術・文化を核として地域活性化や地域ブランド化をめざす「しんゆり・芸術のまち」に向けた取組を推進することとしておりますので、引き続き、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を活かした多様な人々等に選ばれるまちとして効果的な機能の充実等の検討を進めてまいります。	B
37	駅北口に集積している文化・芸術に関わる拠点を相互に連携させ、公共空間と結びつけることで、北口全体を「文化と芸術が生まれ、育ち、発信されるまちのゲート」として展開できると考える。 子どもが地域の大人やアーティストと出会い、地域の中で育つ環境は、将来この街を支える「人財の育成」につながり、さらに、区内に存在する芸術団体とのコラボレーションを進めることで、地域に根差した独自性の高い文化発信が可能になる。こうした連携は、人を呼び込む魅力の強化にも寄与し、新百合ヶ丘を「訪れる理由のある街」として確立する力になると考える。	文化・芸術につきましては、これまで誰もが文化芸術に気軽に触れ、親しめることができ、様々な出会いや交流が促進されるとともに、自由で多彩な創作活動が生まれ、多様性と包摂性を育み、新たな価値を生み出すことなどをめざすまちの姿とし取り組んできておりますので、引き続き、「川崎の文化芸術」の魅力発信、「文化芸術を支える人材の育成と活躍の機会の提供」、「市民・文化関係団体・企業との連携の推進」などの取組を進めてまいります。	D
38	駅周辺施設が老朽化する中、他のエリアで再開発等が進んでいる実態を踏まえると、新百合ヶ丘の魅力は相対的に低下していると感じる。こうした状況を踏まえると、官民敷地の一体的な活用なしにはめざすべきまちづくりは難しいと考える。ぜひともこの計画を実現し、人や投資を呼び込む街に再生してほしい。	本基本的考え方につきましては、より魅力的な広域拠点の形成につながる取組を官民連携により推進していくこと等を目的として作成しておりますので、引き続き、本考え方を基に、様々な機会を捉え、市民の皆様の意見を伺いながら、官民連携し、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。	B

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
39	<p>本案は、駅北口のまちづくりを論じられているが、麻生区全体の課題との関係であまり論じられていない。これを機会に麻生区全体のあり方と合わせて議論を進めてほしい。</p>	<p>本基本的考え方は「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」に基づき作成しており、同まちづくり方針については、本市全体の課題を踏まえ策定した総合計画や都市計画マスタープランなどに即して策定しています。</p> <p>今後も引き続き、上位計画に即し、麻生区全体との関係性も踏まえながら検討するとともに、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	C
40	<p>駅北口にある複数の公共施設を建て替えるにあたって、官民敷地の一体的な活用による大街区化を進めるべきと思う。</p> <p>効率的に順次玉突きで建て替えていけば、行政機能を止めることなく老朽化した建物を更新することができる。</p>	<p>本基本的考え方においても、駅北口の公有地や周辺の民有地の状況等を踏まえ、官民敷地の一体的な活用による都市基盤整備や土地利用の考え方をお示ししていますので、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺うとともに、地権者との意見交換等を行いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
41	<p>本案では、「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」で指定された駅北側の「戦略的誘導エリア」の開発方針について記されているが、「2号再開発促進地区」に指定されている駅北側の地区の「戦略的誘導エリア」以外の区域の再開発について、市が現時点でどのような方針とスケジュールなのかを聞きたい。</p> <p>まちが一体となって賑わい創出をするために、世田谷町田線を越えて「2号再開発促進地区」指定外のアートセンター周辺地区にまでシビックゾーンとしての再開発を行うことが可能であるのなら、「2号再開発促進地区」指定内の同区域の再開発も検討していただきたい。特に「駅とまちをつなぐウォークアブルな駅前空間の形成」として駅北側にもペDESTリアンデッキの設置を行うのであれば、同区域への接続も必ず検討いただきたい。</p>	<p>本案は、駅北側地区の課題である「交通環境を改善する都市基盤整備」や「高経年化した区役所等の公共施設の建替え」、「にぎわいや魅力を創出する都市機能誘導」に向けた基本的考え方を取りまとめており、これらの課題解決に向けては、戦略的誘導エリアを中心に、建物の建築状況や地権者の意向等を踏まえながら、官民敷地の一体的な活用による効果的かつ効率的な大街区化をめざしてまいります。</p> <p>今後のまちづくりの進め方については、事業手法やまちづくりの範囲などの具体的なことは決まっていない状況ですが、引き続き、本基本的考え方を基に、官民連携したまちづくりに向け、地権者との意見交換等を行いながら、効果的な事業手法やスケジュールなどの検討を進めてまいります。</p> <p>また、「川崎都市計画都市再開発の方針」の「2号再開発促進地区（新百合ヶ丘駅周辺地区）」については、土地利用転換や施設のリニューアル等の際には、共同化等の隣接敷地との連携を促進するなど、各種規制誘導手法を活用しながら、「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」や本基本的考え方を基に、適切な土地利用を誘導してまいります。</p>	D

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
42	<p>本案は、公共施設が老朽化しているから複合施設にし、空いた空間を商業施設にしてにぎわう場所にするということと理解したがそれで間違いないか。</p>	<p>本基本的考え方につきましては、市民意見や周辺交通環境の基礎調査等を踏まえ、駅北側の公共施設の建替えの有無も含めた駅北側地区のまちづくりを進めていく上での考え方を明らかにし、より魅力的な広域拠点の形成につながる取組を官民連携により推進していくことを目的として作成しております。今後も、引き続き、本基本的考え方を基に、様々な機会を捉え、市民の皆様の意見を伺いながら、官民連携し、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	D
43	<p>駅周辺に都市機能を集約し交通動線を再整理することで、誰もが利用しやすい都市基盤を整備しようとする点は、高齢者や子育て世帯にとって大きな利点があると感じる。</p> <p>また、官民連携による土地利用の高度化は、限られた土地を有効に活用し、将来世代に過度な負担を残さないまちづくりとして評価できる。</p> <p>本案に示されている一体的なまちづくりの方針は、単なる利便性の向上にとどまらず、人と人とのつながりを生み出す可能性を持っている。少子高齢化という課題に対応するためにも、都市機能の集約と世代間共生の視点を組み合わせ、誰もが安心して暮らし続けられる持続可能なまちづくりを進めていくことが重要であると考え</p>	<p>本基本的考え方でお示しした、都市基盤や土地利用の考え方を基に、引き続き、関係機関等とも協議・調整していくとともに、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしい、将来を見据えたまちづくりを進めてまいります。</p>	B
44	<p>検討内容について概ね賛同する。</p> <p>ただ、これを機に周辺環境の整備も関係機関との協議・連携を検討してほしい。</p>		B
45	<p>現状の課題と対応方針が戦略的によく整理されていると思う。今後の展開に期待している。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
46	<p>新百合ヶ丘の将来を担う次世代を育て、現在の住民との交流を可能にするまちづくりを期待している。 また、このエリアが育んだ貴重な文化・芸術の土壌を活かしたまちづくりをしてほしい。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、子育て世代や若者・高齢者等の様々な世代の交流の促進等、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積や、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めてまいります。</p>	B
47	<p>新百合ヶ丘は全世代に住み良いポテンシャルを持ちながら、駅北側の駅前には活かしきれていない。</p>	<p>駅北側周辺は、低未利用地が点在し土地の高度利用等による都市機能の集積が図られていない状況にあることから、駅北側の一部エリアについて、駅周辺のまちづくりを牽引する土地利用を誘導すべきエリアとしてに位置づけ、まちづくりの検討を先行して進めているところです。引き続き、本基本的考え方を基に、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積等に向け、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
48	<p>公共施設の建替時期の機会を捉え、駅周辺の交通渋滞等の課題解決に加え、賑わい創出や回遊性の向上を図るとの内容でとても良いと思う。 引き続き、本案を踏まえたまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様様の御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
49	<p>文化のまちにふさわしいまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」のまちの将来像に掲げる「多様な人々が集うまち」をめざす取組の一つとして、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実等の検討を進めていますので、引き続き、本基本的考え方を基に、市民の皆様様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
50	<p>南口と比べ北口の賑わいが少ない。 開発による単純な施設の建て替えではなく、本案の考え方に基づいた、課題解決のためのまちづくりに向けて取り組んでほしい。</p>	<p>駅周辺の課題の改善やより魅力ある広域拠点の形成に向けて、本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様様の御意見を伺いながら、駅周辺の適切な土地利用や賑わいを創出する市民活動などのまちづくりを進めてまいります。</p>	B

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
51	<p>駅北側のまちづくりは、行政のみで完結するものではなく、駅前の地権者や民間事業者との協力が不可欠であると考えます。</p> <p>本案において、官民連携による一体的なまちづくりの必要性が明確に示されている点は重要であり、今後の取組に期待している。関係者が将来像を共有しながら官民連携を進めることで、新百合ヶ丘駅の玄関口としてふさわしい駅前空間が実現することを期待する。</p>	<p>本基本的考え方につきましては、より魅力的な広域拠点の形成につながる取組を官民連携により推進していくこと等を目的として作成していますので、引き続き、本考え方を基に、様々な機会を捉え、市民の皆様の意見を伺いながら、官民連携し、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B
52	<p>本案における「まちの将来像」の③「新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）の継承と進化」にどこまで注力するか、独自性を押し出す方針が欲しい。</p> <p>また、各施設をデッキで繋げることを再考してほしい。他都市では低層階が集客に苦しんでいる事例があるので、いかに1階レベルに人が降りたくなるかを構築するかが鍵と考える。</p> <p>昨今の建築費の高騰、人口減少を踏まえ、容積率を上げるだけの開発は避けたほうが面白い。街の人が高層化を求めているわけではないと思う。</p>	<p>本基本的考え方において掲げている「新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）の継承と進化」に向けて、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様の意見を伺いながら、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積の検討を進め、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p> <p>また、本基本的考え方において「歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークラブルな歩行空間の整備」を掲げておりまして、建物低層部についても、民間活力を活かしたにぎわい機能の誘導による「駅とまちをつなぐ歩いて楽しい『人』中心のウォークラブルな駅前空間」の形成をめざして検討を進めてまいります。</p> <p>今後のまちづくりの進め方につきましては、現在のところ事業手法などの具体的なことは決まっていない状況ですが、今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、官民連携したまちづくりに向け、地権者との意見交換の実施や効果的な事業手法などの検討を進めてまいります。</p>	D
53	<p>新百合ヶ丘の強みは「緑豊かな丘陵地」、「駅前と住宅地の近さ」、「文化・芸術の土壌」にあると考えている。</p> <p>金太郎飴的な駅前風景の焼き直しではなく、具体的なコンセプトをもって、新百合ヶ丘の強みを活かした緑豊かな環境と調和するまちづくりをしてほしい。</p>	<p>「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、駅中心部については、まちの将来像に掲げる「多様な人々が集うまち」をめざし、新百合ヶ丘の魅力（芸術・文化、緑、地域活動等）を踏まえた都市機能の充実や、官民連携した緑やオープンスペース等の創出により、魅力ある空間の検討を進めているところでして、引き続き、本基本的考え方を基に様々な機会を捉え、市民の皆様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B

1 まちづくり全般について(85件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
54	<p>公共施設の建替えや新たな商業施設の建設などが検討されることになると思うが、施設開発に向けて、新百合ヶ丘らしさを踏まえた建築物の意匠のガイドラインを設けてほしい。</p>	<p>新百合ヶ丘周辺においては、駅を中心に景観計画特定地区及び都市景観形成地区を指定し、建築物や緑、広告物のデザイン等の基準を定めて、良好な景観形成に向けた誘導を行っています。 いただきました御意見等を踏まえ、今後も施設開発の動向を捉えて、一層の個性と魅力あふれる街なみづくりに向けて取り組んでまいります。</p>	C
55	<p>南口と比べると北口は静かなのが好き。あまりにぎやかになるよりは静かさを保ちつつ、安全面に配慮したまちづくりができればよい。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、安心・安全で利用しやすい歩行者空間の形成や、「一体的な緑」の風景や「立体的な緑」の風景を創出し、街全体を緑豊かに印象づける緑の空間形成を誘導するなど、豊富な緑などの新百合ヶ丘の特徴を踏まえながら都市の魅力を高める都市環境の整備の検討を進めてまいります。</p>	D
56	<p>意見募集がQRコードだと意見できない人もいる。紙でも出せるようにしてほしい。</p>	<p>本案への意見募集については、インターネット入力フォームのほか、紙の意見書の郵送、FAXなどの提出方法も可能としていたところです。 なお、基本的考え方において、引き続き、検討の深度化に向けて、市民の皆様からの御意見を伺う旨の記載を追記するとともに、本市ホームページにおいても今後も継続して意見募集してまいります。</p>	A
57	<p>駅前だけではなく、駅周辺も含めた地域住民の安全面等にも配慮したまちづくりをしてほしい。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、安心・安全で利用しやすい歩行者空間の形成など都市の魅力を高める都市環境の整備等の検討を進めてまいります。</p>	B
58	<p>住んで1年だが、ずっと住みたいと思う。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様からの御意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	南口と比べて魅力的な商業施設が少ないと思う。土地を工夫して、行きたくなるような施設を誘致してほしい。 (他同趣旨15件)	都市機能の誘導の考え方として、「新百合ヶ丘の豊かな自然環境や芸術・文化の魅力を最大限に活かした国内外から人を呼び込む、個性と魅力にあふれた商業機能等の誘導」を掲げており、官民敷地の一体的な活用による大街区化や土地の高度利用により、効果的な土地活用を促進し、新百合ヶ丘の強みを活かした商業機能をはじめとする都市機能の集積をめざしてまいります。	B
2	集約化によって活用可能となる用地は、新百合ヶ丘の新たな魅力創出や都市としてのブランド力向上に資する都市機能の誘致を期待する。		B
3	チェーン店ではなく、新百合ヶ丘ならではのお店を誘致してほしい。 (他同趣旨2件)	新百合ヶ丘の強みを活かし、個性と魅力にあふれた商業機能の誘導をめざしてまいります。	B
4	民間施設に関しては、地域住民だけでなく広域からも集客できるような高付加価値型の魅力付けをしてほしい。 なお、まちの持続的発展には商業・業務・住宅のバランスの取れたミクストユースのまちづくりが必須と考える。	広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出に向けて、官民連携によるオープンスペースの確保や、民間活力を活かした建物低層部へのにぎわい機能の導入などをめざしてまいります。 また、コンパクトで「効率的なまち」の実現に向けて、持続的に発展するまちをめざして、商業機能、業務機能、居住機能等の異なる種類の都市機能が融合した土地利用の誘導を図ってまいります。	B
5	駅付近は昼食時にお店が混雑していて、お店に入れない時がよくあるので、飲食店を誘致してほしい。 また、チェーン店ではなく、新百合ヶ丘ならではのお店を誘致し、ブランド力が形成されることで、人々が集まり様々な市民活動も生まれると考える。	商業機能をはじめとした都市機能の誘導に向けては、「新百合ヶ丘の魅力を活かした国内外から人を呼び込む機能の誘導」として、多様な価値観に対応した機能の充実を掲げており、個性と魅力にあふれた機能の充実をめざしてまいります。 また、商業機能、業務機能、居住機能等が相互に連携し、持続的に発展するまちをめざし、駅至近においては、大型小売店が立地する南口との商業空間の連続性の確保など、商業機能を中心とした土地利用の誘導を図ります。	B

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
6	<p>老若男女問わず利用できる施設など、新百合ヶ丘駅を起点とし、多くの区民が集う街を形成してほしい。</p>	<p>都市機能の誘導の考え方として、「新百合ヶ丘の豊かな自然環境や芸術・文化の魅力を最大限に活かした国内外から人を呼び込む、個性と魅力にあふれた商業機能等の誘導」を掲げており、官民連携した土地の大街区化による敷地の一体的な利用により、地域のポテンシャルを最大限に活かす土地の高度利用による多様な都市機能の集積をめざしてまいります。</p> <p>また、多様な世代の交流を支える機能として、地域ニーズに対応した施設の充実をめざしてまいります。</p>	B
7	<p>インバウンド需要も取り込める宿泊施設も検討してほしい。 (他同趣旨1件)</p>	<p>「新百合ヶ丘の魅力を活かした国内外から人を呼び込む機能の誘導」をめざしてまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
8	<p>都市機能での提案として、従来の考え方は、北口は行政地域、南口は商業中心で開発を進めてきたと認識しているが、ネット時代となり行政として必要となる機能が変わってきたことで人の往来に大きな差が生じており抜本的な見直しが必要と考える。</p> <p>また北口にも活性化を図るのであれば、大型の商業施設やスポーツ施設を誘致すべきと考える。川崎市の中でも麻生区は住宅地の印象が強く、新たな施設が出来る事で都内等からの来客も増え、街の活性化にも寄与できると考える。</p>	<p>商業機能をはじめとした都市機能の誘導に向けては、「新百合ヶ丘の魅力を活かした国内外から人を呼び込む機能の誘導」として、多様な価値観に対応した機能の充実を掲げており、官民連携した土地の大街区化による敷地の一体的な利用により、地域のポテンシャルを最大限に活かす土地の高度利用による多様な都市機能の集積をめざしてまいります。</p> <p>また、今後のまちづくりの進め方については、事業手法等の具体的なことは決まっていない状況ですが、にぎわいや魅力を創出する都市機能の誘導に向けて、地域ニーズに対応した施設の充実をめざしてまいります。</p>	C

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
9	<p>北口側にも重要な施設は存在するものの集積度が低く、回遊性に乏しいため南口側のように活用しきれていないことに対して、政策では商業施設の誘致も含めて機能性を向上させ、なおかつ北口側からの回遊性を向上させるとのことで、より新百合ヶ丘駅周辺が活性化すると思う。</p>	<p>商業機能をはじめとした都市機能の誘導に向けては、「新百合ヶ丘の魅力を活かした国内外から人を呼び込む機能の誘導」として、多様な価値観に対応した機能の充実を掲げており、官民連携した土地の大街区化による敷地の一体的な利用により、地域のポテンシャルを最大限に活かす土地の高度利用による多様な都市機能の集積をめざしてまいります。</p> <p>また、交通機能の適正な役割分担・整備等により、駅南北間の連携や中心部から後背地への連携（回遊性や交通処理機能）の充実等により、まち全体のにぎわいの創出をめざしてまいります。</p>	B
10	<p>北側は南側に比べてにぎわいが少ないため、多様な機能を集積し土地の高度利用や、にぎわいを強化してほしい。 (他同趣旨7件)</p>	<p>「にぎわい」の強化に向けては、官民敷地の一体的な活用による大街区化や高度利用により、駅前の限られた土地の有効活用を図り、人々の回遊を促す効果的な都市機能の配置や、官民連携した緑やオープンスペース等、多世代の憩いの場や緑豊かな空間の創出などをめざしてまいります。</p> <p>今後も引き続き、本基本的考え方を基に、「にぎわいや魅力を創出する都市機能誘導」に向けた検討を進めてまいります。</p>	B
11	<p>低未利用な土地を有効活用し、官民一体のまちづくりに期待している。 (他同趣旨3件)</p>	<p>官民敷地の一体的な活用に向けて、複数の街区に細分化された土地を集約・整形して大規模な街区を創出することで、敷地の一体的な利用と都市基盤の再編をめざしてまいります。</p> <p>また、地域のポテンシャルを最大限に活かす土地の高度利用による多様な都市機能の集積や利便性の向上、防災性の向上等をめざしてまいります。</p>	B
12	<p>空いているスペースで出店や憩える場所を作るとは大変良いことだと思う。そういう場所があればいつでも立ち寄りたし、賑わっていくと思う。</p>	<p>官民連携した土地の大街区化による敷地の一体的な利用により、駅前に人々がにぎわう豊かなオープンスペースを確保し、地域のポテンシャルを最大限に活かす土地の高度利用による多様な都市機能の集積をめざしてまいります。</p>	B
13	<p>駅南側のデッキは多くのイベントが開催されているので、北側単体でもイベントができるようなエリアがほしい。駅周辺で公共空間の有効活用など実験的な取組が行われているので、イベントの同時開催を行うなど連携を強めてほしい。 (他同趣旨2件)</p>	<p>また、オープンスペースや公園・緑地等の活用により、駅周辺で開催される様々なイベントとの連携や、多世代の交流が可能な地域コミュニティの場を形成するなどの都市環境の整備に係る取組を進めてまいります。</p>	B

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
14	<p>ペDESTリアンデッキに雨除けの設置を検討してほしい。</p>	<p>歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりに向けて、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携した歩行空間の整備をめざしてまいります。</p> <p>なお、雨よけの設置については、現段階では具体的な計画等は決まっていますが、土地利用計画等の深度化に合わせて検討してまいります。</p>	D
15	<p>ペDESTリアンデッキの接続先をアートセンターにするなど、にぎわいの創出につなげてほしい。</p>	<p>駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するなど、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォーカブルなまちづくりをめざしてまいります。</p> <p>今後も引き続き、駅周辺の安全で、快適な歩行者空間の整備に向けて、検討を深度化してまいります。</p>	B
16	<p>駅の南側には商業が集積している一方、北側は寂しいイメージがある。北側に関しても歩いて楽しめるような都市機能や歩行空間を整備してほしい。</p>	<p>歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりに向けて、歩行者デッキなどの整備により、駅周辺の高低差を解消し、歩行環境の改善を図るとともに、駅南口の商業空間との連続性の確保によるにぎわい創出に向けて、南口デッキレベルと連続したバリアフリーな動線の確保により、駅南北の連携を強化し、駅周辺の回遊性の促進をめざしてまいります。</p>	B
17	<p>芸術・文化のまちにふさわしい都市機能の充実や公共施設の検討をしてほしい。芸術によるまちづくりのベースを大切にしたい。</p>	<p>新百合ヶ丘の魅力である芸術・文化を活かした都市機能の充実にに向けて、川崎市アートセンターをはじめとする新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術・文化施設を活かしながら、豊かな芸術・文化を核として地域活性化や地域ブランド化をめざす「しんゆり・芸術のまち」に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>また、市民館等の公共施設の建替えについては、地域資源の魅力を活かした駅周辺のにぎわいや活性化に寄与する施設の建替えをめざしてまいります。</p>	B

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
18	<p>芸術・文化のまちにふさわしい施設の誘致をしてほしい。博物館的施設として地域の特性から映画・映像関係が望ましいと考える。</p>	<p>新百合ヶ丘の魅力である芸術・文化を活かした都市機能の充実に向けて、川崎市アートセンターをはじめとする新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術・文化施設を活かしながら、豊かな芸術・文化を核として地域活性化や地域ブランド化をめざす「しんゆり・芸術のまち」に向けた取組を進めてまいります。</p> <p>また、官民敷地の一体的な活用による大街区化や土地の高度利用により、効果的な土地活用を促進し、新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積をめざしてまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
19	<p>商業機能を中心とした高密度かつ複合的な用途・機能の誘導としているが、既に南側に集約されている商業施設群と隔絶された北側に新たに商業機能を誘導する方向性には疑問がある。</p> <p>再編される公共施設と共に、音楽ホールや複合図書館などの文化的公益施設と都市公園を一体的に計画するなどして創造文化の発信機能を発展、強化してほしい。</p>	<p>都市機能の誘導の考え方として、「相乗効果を生み出す多様な都市機能の誘導」を掲げており、大型小売店が立地する南口との商業空間の連続性の確保によるにぎわいのあるまちづくりに向けて、商業機能を中心とした土地利用の誘導をめざしてまいります。</p> <p>市民館等の公共施設の建替えについては、多様な機能の導入等による利便性や魅力の向上を図り、市民の利用や参加のさらなる促進につながる様々な付加価値を生み出す施設をめざし、まちの魅力向上にもつながる麻生区のシンボルとなるような施設計画をめざしてまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
20	<p>タワーマンション建設には疑問がある。新百合ヶ丘には大型商業施設や高層化は似合わないと思う。</p>	<p>本市では、これまで各拠点地区等において、地域特性に応じ、地区計画等を設定することで無秩序な開発を抑制し、都市基盤整備と併せて商業、業務、都市型住宅等の都市機能を集積することにより、利便性の高いまちづくりを進めてきました。今後も引き続き、誰もが暮らしやすいまちづくりをめざし、計画的に土地利用を誘導し、魅力ある都市拠点の形成に努めていきます。</p>	D
21	<p>駅前にタワマンが乱立するのも問題になりうるので、大手ゼネコンの参入等規制も必要かと思う。</p>	<p>なお、現段階では、具体的な土地利用計画は決まっていません。今後も引き続き、本基本的考え方を基に、検討を深度化し、新百合ヶ丘の持続的な発展をめざしてまいります。</p>	D

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
22	駅前人が集まれる場所ができることはとても良い考えだと思う。	官民連携した土地の大街区化による敷地の一体的な利用により、駅前に人々がにぎわう豊かなオープンスペースを確保し、地域のポテンシャルを最大限に活かす土地の高度利用による多様な都市機能の集積をめざしてまいります。	B
23	交通環境の改善は必要と思うが、無機質な広い駅前とならないよう上手く積層してほしい。		B
24	駅周辺の高密度かつ複合的な利用が進むエリアにおいて、子育て世帯や若者が住みやすい住宅を整備することで、若い世代の定住を促し、地域の人口構造の安定にも貢献できると考える。	多様な居住ニーズ等に応じた住まい・住まい方や交流を支える機能の充実に向けて、高経年住宅などの住宅ストックを活用した世代間循環を促進し、子育て世帯へのゆとりある住まいの提供や高齢者世帯への住まいを活かした豊かな高齢期の実現を支える利便性の高い地域等への住み替えの促進を図るなど子育て世帯の定住促進や高齢者世帯の安定居住に向けた取組を進めてまいります。	B
25	未就学児や子供が遊べる広場や屋内遊戯場を充実させてほしい。	新百合ヶ丘の強みを活かした都市機能の集積に向けて、子育て世代や若者・高齢者等、様々な世代の交流の促進に向けた地域住民等の主体的な地域活動等の取組の支援や、地域ニーズに対応した施設の充実をめざしてまいります。 いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。	C

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
26	<p>「新百合ヶ丘駅北側と南側のハーモニー」をめざしてほしい。商業・業務施設が供給過多とならないよう、適切なまちづくりをめざしてほしい。また、南側のマルシェやイルミネーションといったソフト活動が、北側の動線や広場にも拡充されるよう工夫してほしい。</p>	<p>駅南北の適切なまちづくりの検討にあたっては、都市機能の誘導の考え方として、「相乗効果を生み出す多様な都市機能の誘導」を掲げており、大型小売店が立地する南口との商業空間の連続性の確保によるにぎわいの創出や、駅周辺の活動や交流が促進され、持続的に発展するまちをめざして、商業機能、業務機能、居住機能等の異なる種類の都市機能が融合した土地利用の誘導を図ってまいります。</p> <p>また、官民連携した土地の大街区化による敷地の一体的な利用により、駅前に人々がにぎわう豊かなオープンスペースを確保し、駅周辺で開催される様々なイベントとの連携や、多世代の交流が可能な地域コミュニティの場を形成するなどの都市環境の整備に係る取組を進めてまいります。</p>	B
27	<p>街の機能・賑わいが維持できる連鎖的な建替えができるよう、「将来における街の更新を見据えた計画づくり」をめざしてほしい。</p> <p>分譲住宅等のような土地の細分化を行うと、将来のまちづくりにおいて合意形成の難航が予想されるため、定借マンションや、賃貸住宅といった工夫を検討してほしい。</p>	<p>持続的に発展するまちをめざして、官民敷地の一体的な活用による土地の大街区化により、抜本的な交通環境の改善や高経年化した区役所等の建替えとともに、土地の高度利用による多様な都市機能の集積や、大街区化で生まれたオープンスペースの有効活用を図るなど、官民連携した計画的なまちづくりを進めてまいります。</p> <p>なお、居住機能の導入に向けては、現段階で具体的な計画等は決まっていますが、引き続き、多様な居住ニーズ等に応じた住まい・住まい方の検討を行ってまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C

2 土地利用について(61件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
28	<p>みどりの再生、医療、魅力的な北口駅前広場、区役所までの動線など、高齢者にとっても住みやすいまちづくりをしてほしい。また、北口には診療所が少ないため増やしてほしい。</p>	<p>都市機能の誘導に向けては、子育て世代や若者・高齢者等、様々な世代の地域ニーズに対応した施設の充実や積極的な緑の導入をめざしてまいります。</p> <p>また、歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりに向けて、歩行者デッキなどの整備により、駅周辺の高低差を解消し、歩行環境の改善を図るとともに、南口デッキレベルと連続したバリアフリーな動線の確保により、多世代が利用しやすい歩行者空間をめざしてまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
29	<p>駅北側は南口に比して賑わいの不足を感じており、旧建物の機能更新や土地の高度利用の必要性を感じている。</p>	<p>官民敷地の一体的な活用による土地の大街区化により、高経年化した区役所等の建替えとともに、地域のポテンシャルを最大限に活かす土地の高度利用による多様な都市機能の集積や、大街区化で生まれたオープンスペースの活用など、将来を見据えたまちづくりをめざしてまいります。</p>	B
30	<p>少子高齢化対策としてさらに発展させるためには、世代を超えた共生を意識した機能配置が重要であると考えます。例えば、公共施設の建替えや複合化にあわせて、保育施設や子育て支援センター、高齢者の交流スペース、診療所などを同一エリアに配置することで、日常的な世代間交流が生まれやすくなり、子育て世帯の不安軽減や高齢者の見守り体制の強化が期待できる。</p>	<p>子育て世代や若者・高齢者等、様々な世代の交流の促進に向けて、地域住民等の主体的な地域活動等の取組の支援や、地域ニーズに対応した施設の充実をめざしてまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
31	<p>商業、業務、居住機能が融合し、新しく起業する若者やNPOなどが成長できるようなまちであってほしい。そのためには、様々な当事者が参加できる仕組みで検討してほしい。</p> <p>また、自治体と地域住民との協働で、若者と熟年層が交流できる小さな施設やお店などを優先的に配置して、高齢者、障害者、不登校の子どもたち、外国語を母語とする方なども気軽に参加できる仕組みにし、町の将来についてだれでも意見を交わせる場を確保してほしい。</p>	<p>都市機能の誘導の考え方として、「相乗効果を生み出す多様な都市機能の誘導」を掲げており、持続的に発展するまちをめざして、商業機能、業務機能、居住機能等の異なる種類の都市機能が融合した土地利用の誘導を図ってまいります。</p> <p>また、多様な人々の交流を支える機能として、地域ニーズに対応した施設の充実をめざしてまいります。</p> <p>導入機能の利用に関する御意見につきましては、まちづくりの検討の深度化に合わせて参考とさせていただきます。</p>	C

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	北口ロータリーの混雑緩和や、バスロータリーが無いことによる不便、交通に関する課題を解決してほしい。 (他同趣旨8件)	<p>交通環境改善の考え方において、駅周辺の公共交通等の円滑な通行を支える交通広場等の整備と適正な配置などを掲げ、官民敷地の一体的な活用を図り、歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の新たな交通広場を整備するとともに、公共交通のより安全かつ円滑な運行のため、公共交通や一般車交通等の種別に応じて、適切な交通空間を配置することとしています。</p> <p>今後も引き続き、本基本的考え方を基に、駅周辺の交通環境の改善に向けて、検討を深度化してまいります。</p>	B
2	現在の北口駅前広場は、安全性を含め十分とはいえない状況だと感じる。		B
3	駅北口側のタクシーが来ないことが多いので、もっと増えるようにしてほしい。		B
4	北口のロータリーが狭く 自家用車を止める場所がない。もう少しスペースを広くしてほしい。		B
5	個人の車の利用優先はやめてほしい。むしろ、北口のバスロータリーを拡大して公共交通が今より増えるようにしてほしい。		B
6	北口広場の慢性的混雑への対応は新たに広場を作るしかないと考え。駅前の土地が低未利用なのはもったいない。1階部分をバスターミナルにして、駅とペDESTリアンデッキで結び、その上部に立体駐車場と商業施設を併設したビルを整備してほしい。	<p>本基本的考え方では、駅周辺の交通環境の改善に向けて、官民敷地の一体的な活用を図り、新たな交通広場の整備や駅と後背地をつなぐ歩行者デッキ等による快適な歩行者動線の整備などをめざすことを掲げています。</p> <p>具体的な都市基盤の配置や土地利用計画は決まっていますが、土地の立体的な活用などにより、駅前の交通環境の改善とともに、多様な都市機能の集積や人々が集うオープンスペースの確保など、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出をめざし、引き続き、検討を深度化してまいります。</p>	D

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
7	<p>パーク&ライドのような車を利用しなくて公共交通機関だけでアクセスできるような方向性は検討してほしい。または、検討したが予算などの関係でできないのか教えてほしい。</p>	<p>交通環境改善の考え方において、駅周辺の公共交通等の円滑な通行を支える交通広場等の整備と適正な配置などを掲げ、官民敷地の一体的な活用を図り、歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の新たな交通広場を整備するとともに、公共交通のより安全かつ円滑な運行のため、公共交通や一般車交通等の種別に応じて、適切な交通空間を配置することとしています。</p> <p>引き続き、検討を深度化し、駅周辺等の特性に応じた交通環境の整備及び公共交通の利用促進を進めてまいります。</p>	D
8	<p>交通体系について、駅周辺だけの状況でなく新百合ヶ丘の特性である郊外からのアクセスを最優先に考慮すべき。</p> <p>南北ともに駅周辺の開発以前に、北方面は金程、千代ヶ丘、南方面は上麻生、王禅寺の各地区での住宅の開発が推進され、多くの住民が新百合ヶ丘駅に通勤通学に行き来している。現在の北口・南口の駅前広場の面積や用途には大きな差があり、北方面からの往来の為に同等の広場を作り交通拠点を分散化することは必達と考える。</p> <p>世田谷方面、町田方面への幹線道路である世田谷町田線は、新百合ヶ丘周辺では貴重な路線である。渋滞は慢性化しており、特に新百合ヶ丘駅入口交差点は、北口線側に右折矢印信号機もなく常時危険な状態である。</p> <p>また、駅北口に向かう道は狭く北口広場を拡張するのであれば、道幅の拡幅、歩道と車道の区分け、交差点の拡幅など、全てがセットでの大幅な見直しが必要であり急務と考える。</p>	<p>交通環境改善の考え方において、駅アクセス等の課題解消に向けた取組や駅南北の広域的な交通の課題解消に向けた取組として、新たな交通広場の整備と併せて、交通広場への円滑な交通や、千代ヶ丘方面や若葉台方面からの駅アクセス等を踏まえ、世田谷町田線に接続するとともに、駅南口方面から区役所等北口側施設へのアクセス等を踏まえ、既存道路を活用して万福寺王禅寺線に接続する高規格な道路を整備することとしています。</p> <p>また、駅南北を通過する万福寺王禅寺線の交通の分散化を図るため、駅南北の広域的な交通処理を担う幹線道路である世田谷町田線や尻手黒川線の整備を着実に推進することとしています。</p> <p>今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、駅周辺の交通環境の改善に向けて検討を深度化してまいります。</p>	D

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
9	<p>急務とされる交通渋滞については、交通広場の整備および歩車分離により改善してほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、官民敷地の一体的な活用による歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の交通広場の整備や、交通広場等へのアクセスを踏まえた、世田谷町田線や万福寺王禅寺線に接続する高規格な道路を整備するものとしております。</p>	B
10	<p>駅北口は、駅前広場を中心に混雑が発生していることや歩行者空間も狭いことから、普段利用していても安全性に課題があると感じているので、車による駅アクセスの改善や安全で快適な歩行空間の整備を進めてほしい。</p>	<p>また、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するとともに、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークアブルな歩行空間を整備するものとしています。</p>	B
11	<p>新百合ヶ丘駅からヤオコー前の道路に出るまでの、区画街路10号線及び麻生区役所南側交差点も渋滞する。バスやタクシーの運行に支障が出て困っている。稲城方面から新百合ヶ丘駅周辺に出る際の交通渋滞を緩和してほしい。迂回路が無く、車が同じ道路に集中してしまうのが問題だと思う。</p>	<p>交通環境改善の考え方において、駅アクセス等の課題解消に向けた取組や駅南北の広域的な交通の課題解消に向けた取組として、駅周辺の公共交通等の円滑な通行を支える交通広場等の整備と適正な配置や駅周辺の交通環境を改善する駅アクセス等の整備を掲げ、官民敷地の一体的な活用による歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の交通広場の整備や、交通広場等へのアクセスを踏まえた、世田谷町田線や万福寺王禅寺線に接続する高規格な道路を整備するものとしております。</p> <p>また、駅南北を通過する万福寺王禅寺線の交通の分散化を図るため、駅南北の広域的な交通処理を担う幹線道路である世田谷町田線や尻手黒川線の整備を着実に推進していくこととしています。</p> <p>今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、駅周辺の交通環境の改善に向けて検討を深度化してまいります。</p>	D

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
12	<p>新百合ヶ丘北口線の歩道の幅が狭く歩きにくいと感じる。また、車道も狭いため自転車で通行するときに危険を感じる。歩道を走る自転車も多いため改善を検討してほしい。</p>	<p>交通環境改善の考え方において、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するとともに、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークアブルな歩行空間を整備することとしています。</p> <p>引き続き、歩行者や車両の適切な動線の分離が図られるよう、検討を深度化してまいります。</p>	B
13	<p>新百合ヶ丘駅からバスを利用したとき北口にターミナルがあれば混雑が緩和されると思う。 (他同趣旨4件)</p>	<p>令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、駅南北の公共交通の適正配分を図るものとしており、本基本的考え方(案)においても、駅周辺の公共交通等の円滑な通行を支える交通広場等の整備と適正な配置を掲げ、公共交通等の円滑な通行を支えるために、官民敷地の一体的な活用を図り、歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の新たな交通広場を整備するとともに、公共交通のより安全かつ円滑な運行のため、公共交通や一般車交通等の種別に応じて、適切な交通空間を配置することとしています。</p> <p>今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、駅周辺の交通環境の改善に向けて検討を深度化してまいります。</p>	B
14	<p>路線バスが駅南側のロータリー始発で、北口側の路線も南口側から乗車することになり、時間帯によっては駅周辺を周り北口側へ移動するまでに時間がかかるなど不便だが、本案では北口側にも大きいロータリーを作り、バスの始発を振り分けるとのこと で、大いに便利になると思う。</p>		B
15	<p>北口にバスロータリーを整備することで、千代ヶ丘、よみうりランド、向原方面はとても便利になる。</p>		B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
16	<p>新百合ヶ丘駅前の交通渋滞の緩和、駅前のアクセスの効率化を検討してほしい。 (他同趣旨6件)</p>	<p>新百合ヶ丘駅北側では、駅に向かう一般車や自転車、歩行者の交通量が多いことなどにより、駅前広場が混雑しています。本基本的考え方(案)において、駅周辺の交通環境を改善する駅アクセス等の整備を掲げ、新たな交通広場への円滑な交通や、千代ヶ丘方面や若葉台方面からの駅アクセス等を踏まえ、世田谷町田線に接続するとともに、駅南口方面から区役所等北口側施設へのアクセス等を踏まえ、既存道路を活用して万福寺王禅寺線に接続する高規格な道路を整備するものとしています。 今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、駅周辺の交通環境の改善に向けて、検討を深度化してまいります。</p>	B
17	<p>駅からのアクセスの利便性重視に賛成する。 (他同趣旨5件)</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、歩行者や車両の適切な動線の分離や駅周辺の回遊を促す快適な歩行者動線の整備をめざし、検討を深度化してまいります。</p>	B
18	<p>駅周辺の交通状況が改善され、人と車が駅の南北を回遊しやすくなることを期待する。</p>	<p>駅周辺の交通環境の改善に向けて、官民敷地の一体的な活用により、新たな交通広場の整備や、交通広場等へのアクセスを踏まえた、世田谷町田線や万福寺王禅寺線に接続する高規格な道路の整備等をめざしてまいります。 こうした取組の実現には、一定程度時間を要することから、これまで、既成市街地の中で限られた空間を有効に活用しながら、柔軟に交通環境改善の取組を実施していますので、今後も、引き続き、道路管理者や交通管理者と連携し、交通の状況を踏まえながら実施可能な改善策を検討してまいります。</p>	B
19	<p>世田谷町田線から新百合ヶ丘駅北口に繋がる道路が狭あいのため雨が降ると渋滞が生じている。 工事期間もかかると思うので、その間は一方通行にするなどを検討してほしい。</p>	<p>駅周辺の交通環境の改善に向けて、官民敷地の一体的な活用により、新たな交通広場の整備や、交通広場等へのアクセスを踏まえた、世田谷町田線や万福寺王禅寺線に接続する高規格な道路の整備等をめざしてまいります。 こうした取組の実現には、一定程度時間を要することから、これまで、既成市街地の中で限られた空間を有効に活用しながら、柔軟に交通環境改善の取組を実施していますので、今後も、引き続き、道路管理者や交通管理者と連携し、交通の状況を踏まえながら実施可能な改善策を検討してまいります。</p>	D

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
20	<p>駅周辺の渋滞対策について、幅員が狭く駐車帯のない道路が多すぎるため、各道路の幅員を拡幅してほしい。全線拡幅は時間がかかるので、一定区間での幅員を拡幅し、右折レーン、左折レーン及び直線部の2車線化など、最小限の整備を行い、渋滞対策を進めることが肝要と考える。</p> <p>バスの発着場を人中心の広場の端に持っていく。併せて、近年の新交通手段（電動スクーター、レンタルサイクル、自動運転ミニバス等）も一定考慮していくことも必要と考える。空飛ぶ車も近い将来、普及してくることも念頭に入れておいた方がよいと思う。</p>	<p>本基本的考え方（案）において、新百合ヶ丘駅周辺の公共交通等の円滑な通行を支える交通広場等の整備と適正な配置や駅周辺の交通環境を改善する駅アクセス等の整備を掲げ、官民敷地の一体的な活用による歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の交通広場の整備や、交通広場等へのアクセスを踏まえた、世田谷町田線や万福寺王禅寺線に接続する高規格な道路を整備するものとしております。</p> <p>今後、新たなモビリティについても、今後の動向を見据えつつ、本基本的考え方を基に、引き続き駅周辺の交通環境の改善に向けて、検討を深度化してまいります。</p>	D
21	<p>駅北口周辺については、ロータリーがタクシーや病院の送迎車に加え、一般車の乗降場にもなっていることなどもあり、交通量が多いように感じる。そのような状況の中で歩行者と自動車の分離がされていなく、信号の切り替わりも早いため、朝や夜に赤信号を無視して走って渡っている人をよく見かけ危ないと思う。</p> <p>また、周辺の歩道の幅も通行量に比べて狭いので、駅からアートセンターまではベビーカーや高齢者の方を先頭に通行が詰まっていることがある。これら歩行空間については、本案で交通環境改善の考え方について触れられていたので、市としても問題点として認識しているようで安心した。歩行者デッキ等による歩車分離、歩行空間の拡充を期待している。</p>	<p>本基本的考え方（案）において、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するとともに、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークアブルな歩行空間を整備することとしています。</p> <p>今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、歩行者や車両の適切な動線の分離や安全で快適な歩行者動線等の整備に向けて、検討を深度化してまいります。</p>	B
22	<p>新百合ヶ丘駅の整備当初に比べて、駅前の交通広場はいつも混雑して、道路も渋滞が目立つようになった。</p> <p>特に、駅北側の交通広場の拡充、高規格な駅アクセス道路の新設、デッキ等による歩行空間の創出といったインフラの整備が大きな効果をもたらすものと期待する。</p> <p>これらを出発点として次のフェーズでは、歩いて楽しい街、人が集まり賑わいを創出する街にするためのアイデアを積み上げていきたい。</p>	<p>駅周辺の交通環境の改善は、喫緊の課題と考えていますので、今後は、本基本的考え方を基に、官民連携した取組により、交通広場や駅アクセス等の都市基盤整備が着実に進むよう引き続き検討を深度化してまいります。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
23	<p>新百合ヶ丘駅北口駅前交差点の歩行者用信号が短すぎるため、急いでいる際渡り切れない。車も多く危険なので長くしてもらえれば小さい子供連れや足の悪い高齢者の方も安全に渡れると思う。</p> <p>(他同趣旨 4 件)</p>	<p>駅北側は、駅に向かう一般車や自転車、歩行者の交通量が多いことが要因で、北口駅前交差点が混雑しております。このため、本基本的考え方(案)において、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動できる歩行者動線等を整備することとしています。</p> <p>今後は、本基本的考え方をもとに、歩行者と車両の適切な動線の分離など、駅周辺の交通環境の改善に向けて引き続き、検討を深度化してまいります。</p> <p>なお、新百合ヶ丘駅北口駅前交差点の現状の歩行者信号につきましては、信号を所管している交通管理者に御意見を伝えてまいります。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
24	<p>駅北口は、歩行者が安心して利用できる空間となることを望む。駅北口周辺については、歩行者が安心して移動したり、立ち止まったりできる空間が十分に確保されていないと感じ、駅前でありながら、人の動きよりも車の動線が優先されている印象を受ける。</p> <p>本案に示されている、歩行者中心の駅前空間の形成や、ウォークアブルなまちづくりの考え方は、駅の利用しやすさや印象を高める上で重要であり、北口においても具体的に実現されることを期待する。</p> <p>(他同趣旨 8 件)</p>	<p>本基本的考え方(案)において、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備等を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するとともに、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークアブルな歩行空間を整備するものとしています。</p> <p>また、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出に向けて、駅コンコースから直結した官民連携によるオープンスペースの確保や、民間活力を活かした建物低層部へのにぎわい機能の誘導をめざすものとしております。</p> <p>今後も引き続き、駅周辺の安全で快適な歩行者空間の整備に向けて、本基本的考え方を基に、検討を深度化してまいります。</p>	B
25	<p>駅から世田谷町田線までは高低差があるため、人と車両の動線が立体的に分離されたペDESTリアンデッキで、駅からアートセンターやふるさと緑地の方面まで続くバリアフリーな動線が繋がるとよい。</p> <p>(他同趣旨 10 件)</p>		B
26	<p>麻生区の高齢化に伴い、バリアフリー化への配慮は重要であるため、誰もが快適に利用できるよう、地上からデッキに接続するエレベーター、エスカレーター等を設置してほしい。</p> <p>(他同趣旨 5 件)</p>		B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
27	<p>北口には歩行者のための広場がないため、官民連携した大街区化により、駅とまちをつなぐ歩いて楽しい『人』中心のウォークアブルな駅前空間の形成をはかり、子供やその家族、高齢者などが安心して過ごし、滞在できる駅前空間にしてほしい。 (他同趣旨2件)</p>	<p>本基本的考え方(案)において、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備等を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するとともに、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークアブルな歩行空間を整備するものとしています。</p> <p>また、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出に向けて、駅コンコースから直結した官民連携によるオープンスペースの確保や、民間活力を活かした建物低層部へのにぎわい機能の誘導をめざすものとしております。</p> <p>今後も引き続き、駅周辺の安全で快適な歩行者空間の整備に向けて、本基本的考え方を基に、検討を深度化してまいります。</p>	B
28	<p>「移動ストレスの無い交通結節点」を目指してほしい。小田急線の駅、地下鉄の新駅、南口交通広場、北口新設交通広場間の移動において、高低差・雨や強い日射への対応、移動の分かりやすさに工夫を施した動線整備をお願いしたい。この動線が合理的・内包的になると、街への滲み出し・寄り道が起こりにくくなると思う。適度な分散配置のうえ、歩いて楽しくなるよう、動線沿いに文化施設や商業施設の顔出しといった工夫をお願いしたい。</p>	<p>本基本的考え方(案)において、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するとともに、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークアブルな歩行空間を整備することとしています。</p> <p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様御意見を伺いながら、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出等に向けて取組を進めてまいります。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
29	<p>ウォークラブルな空間整備の方向性について、本案では「ウォークラブルな空間の整備」が掲げられており、歩行者中心のまちづくりを進める姿勢に賛同する。</p> <p>一方で、気候変動の進行による猛暑・豪雨の深刻化を踏まえると、従来の地上空間のみを前提とした整備では、快適性・安全性の確保に限界があり、猛暑で外出できない日が増えてくることが想定される。そこで、近年の夏季の高温化や極端気象の増加を考慮すると、基本的な考え方の段階で、「地下空間の活用可能性」を明示し、検討対象として位置づけることを要望する。</p>	<p>本基本的考え方（案）において、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークラブルな歩行空間の整備のほか、土地の立体的な活用や、官民連携による都市空間の有効活用についても記載しているところです。</p> <p>今後は、本基本的考え方を基に、引き続き、安全で快適な歩行者動線の整備に向けて、検討を深度化してまいります。</p>	D
30	<p>まちづくりの各要素について「安全・安心でウォークラブルな駅前空間を実現するデッキ等の歩行空間の整備」とされているが、本編案のP55の土地利用の断面イメージでは、ウォークラブルな駅前空間の形成の枠が駅前空間だけでとどまり、公共施設のところまでつながっていないため、アクセスが今より悪くなる市民が多いと思う。地形的に高低差があるので、ベビーカー、車椅子の利用者、また杖歩行などの高齢者・けが人等はこわくて公共施設まで行けない。また、P32の「3-3 駅周辺の歩行環境の課題解消に向けた取組」における、歩行空間の創出とは、商業施設を作ってその中の回廊やエレベーターを使って地上階に降りるというイメージでよいか。いずれにせよ公共施設が駅から遠くなるので今よりアクセス容易性は下がる。</p>	<p>公共施設を配置するシビックゾーンの形成に向けましては、アクセス性や地域資源との連携等の観点から望ましい配置を整理した結果、世田谷町田線からのアクセス性や、地域資源である川崎市アートセンター等との連携強化が期待されるエリアをシビックゾーンとして選定しています。</p> <p>また、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間の整備をめざしており、駅からシビックゾーンへも、安全で利便性の高い歩行者動線となるよう、引き続き、検討を深度化してまいります。</p>	D
31	<p>北口は歩道も含め、道路が狭いため歩行者や自転車が安全に行き来できるよう整備してほしい。 (他同趣旨1件)</p>	<p>本基本的考え方（案）において、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を整備するとともに、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークラブルな歩行空間を整備するものとしています。</p>	B
32	<p>駅周辺は、坂が多く自転車利用者も多いので、自転車も安全に走れるようにしてほしい。</p>	<p>また、官民連携による都市空間を有効活用した駐車場機能等の整備として、目的別動線を適切に処理する都市基盤と連携した駐車場の施設配置や適切なアクセス動線など、官民連携による都市空間の有効活用を図りながら、円滑な交通処理を実現する駐車場機能等を整備するものとしています。</p>	B
33	<p>駅周辺の駐輪場を拡充してほしい。</p>		B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
34	<p>自転車の駐輪場を少し駅から離して、駅前は歩行者の安全な環境にしてほしい。駐輪場は駅から離れていても歩行する道が歩きやすければよいと思う。</p>	<p>本基本的考え方（案）において、駅前広域拠点にふさわしい、にぎわいあふれる駅前空間の創出に向けて、駅コンコースから直結した、「人」中心のウォークアブルな駅前空間の形成をめざすものとしております。</p> <p>また、官民連携により都市空間の有効活用を図りながら、円滑な交通を実現する駐車場機能を整備するものとしており、今後、本基本的考え方を基に、検討を深度化してまいります。</p>	B
35	<p>駅周辺が渋滞していて駐車場も使いにくいので改善してほしい。 (他同趣旨1件)</p>	<p>本基本的考え方（案）において、官民連携による都市空間を有効活用した駐車場機能等の整備を掲げ、目的別動線を適切に処理する都市基盤と連携した駐車場の施設配置や車両出入口とするとともに、土地の立体的な活用や、共同荷さばきや駐車場の施設間のシェア化など、官民連携による都市空間の有効活用を図りながら、円滑な交通処理を実現する駐車場機能等を整備するものとしております。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
36	<p>駅周辺の機能集積を検討する際には、人の移動に加えて物流の在り方も視野に入れることが有効だと考える。鉄道を活用した幹線輸送と、駅を起点としたEVや配送ロボット等によるラストワンマイル配送を組み合わせることで、省人化と効率化を両立した都市内物流モデルの検討が可能となり、人口減少下においても商業・生活機能を安定的に支える基盤となると考える。</p> <p>市営地下鉄延伸を見据え、駅前空間の再編、土地利用、施設配置についても、概要版で示されている課題認識を踏まえつつ、人流と物流の双方を意識した、持続可能で効率的な都市運営モデルを、まちづくり方針の中で明確に示していただきたいと思う。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、官民連携による都市空間を有効活用した駐車場機能等の整備を掲げ、目的別動線を適切に処理する都市基盤と連携した駐車場の施設配置や車両出入口とするとともに、共同荷さばきや駐車場の施設間のシェアなど、官民連携による都市空間の有効活用を図りながら、円滑な交通処理を実現する駐車場機能や荷さばき機能等を整備することとしています。</p> <p>いただいた御意見は参考とさせていただきます、今後も、引き続き、共同配送等の物流の効率化に向けた動きにも留意しながら、本基本的考え方を基に検討を深度化してまいります。</p>	C
37	<p>現在の主要な渋滞道路は万福寺王禅寺線の吹込交差点から金程入口付近の道路だが、北口開発の大規模駐車場とは離れており、どうして大規模駐車場の開発が渋滞道路の解消につながるのか、投資金額が大きいだけに十分な説明をしてほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)において、駅南北の広域的な交通環境を改善する幹線道路の整備を掲げ、世田谷町田線の4車線化や尻手黒川線IV期の整備を着実に推進することで、万福寺王禅寺線に集中する通過交通の分散化を図ることや、万福寺王禅寺線の交通実態に応じた道路の区画線の見直しや車道の一部拡幅などの対策について、駅周辺のまちづくりの状況等を踏まえながら段階的に検討するものとしています。</p> <p>現時点で、北側地区のまちづくりについて具体的な計画等は決まっていますが、引き続き、本基本的考え方を基に、駅周辺の交通環境の改善に向けて検討を深度化し、検討の各段階に応じ、適切に計画をお示ししてまいります。</p>	C

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
38	<p>麻生警察署前交差点付近の渋滞が激しいのでバスが遅れることが多い。新百合ヶ丘駅北口線の坂と麻生警察署付近は土曜日で雨の日に混雑する。日曜日はそれほど混雑しない。</p>	<p>駅周辺では、万福寺王禅寺線に駅南北を抜ける通過交通が集中しており、慢性的な渋滞が発生しています。さらに駅前広場へのアクセス動線と交錯することで、交通処理能力が低下し駅南北交通の渋滞を助長しています。</p>	B
39	<p>新百合ヶ丘駅北側地区で一番悩まされているのが交通渋滞。まず、稲城方面から世田谷町田線に至るまでの道路、新百合ヶ丘方面に向かって麻生郵便局前付近から麻生警察までの間は特によく渋滞し、週末の午前中は必ず渋滞する。</p>	<p>本基本的考え方(案)において、駅南北の広域的な交通環境を改善する幹線道路の整備を掲げ、世田谷町田線の4車線化や尻手黒川線Ⅳ期の整備を着実に推進することで、万福寺王禅寺線に集中する通過交通の分散化を図ることや、万福寺王禅寺線の交通実態に応じた道路の区画線の見直しや車道の一部拡幅などの対策について、駅周辺のまちづくりの状況を踏まえながら段階的に検討していくものとしています。</p>	B
40	<p>万福寺王禅寺線の渋滞緩和策を検討してほしい。</p>		B
41	<p>北口駅前ロータリーは、非常に狭く、信号も相まって慢性的な交通渋滞が発生しているため、「官民連携した整備による交通環境改善」に賛成します。 駅北口から幹線道路である世田谷町田線に繋がる道路についても、交通量は多いのにも関わらず、片側1車線の狭い道路で慢性的な交通渋滞が発生しているため、北側街区のまちづくりを行う上で官民一体となり、より大きな範囲でまちづくりを行うことに賛成します。 (他同趣旨2件)</p>	<p>本基本的考え方を基に、官民敷地の一体的な活用による大街区化により、官民連携して街区内の都市基盤の再編を図るなど、抜本的な交通環境の改善に向けて、検討を深度化してまいります。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
42	<p>北口駅前広場の閉鎖及び新たな駅前広場の設置、それに付随する整備等を行ってほしい。現在の北口駅前広場を四半世紀以上利用しているが、広場ともロータリーとも言い難いちぐはぐな場所と感じている。北口駅前の私有地の買収も困難な状況と見受けられ、北口駅前広場やそこに至る道路の拡張は望めそうもないと考える。北口駅前広場は閉鎖し、区役所等の公共施設の敷地にロータリーを新設し、南口駅前ロータリー同様、タクシー乗り場、バス乗り場、バス待機所、送迎車両の乗降ゾーン、各種送迎バスの乗降ゾーン等を設けてほしい。</p> <p>また、世田谷町田線と新設したロータリーを短距離かつ直線のイメージで接続する道路を新設してほしい。ロータリーを地下化出来れば、勾配の無い十分な道幅の道路を整備できる。</p>	<p>駅北側地区における交通環境の改善には、既存の公有地だけで対策を行うことが困難であることから、区役所等の高経年化の状況等を踏まえるとともに、駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化により、官民連携して街区内の都市基盤の再編による抜本的な交通環境の改善を図るものとしております。</p> <p>本基本的考え方(案)において、駅周辺の公共交通等の円滑な通行を支える交通広場等の整備と適正な配置及び駅周辺の交通環境を改善する駅アクセス等の整備を掲げ、歩行者や車両等のアクセスに配慮した適切な位置・規模の新たな交通広場を整備するとともに、公共交通のより安全かつ円滑な運行のため、公共交通や一般車交通等の種別に応じて、適切な交通空間を配置することと併せて、新たな交通広場への円滑な交通、千代ヶ丘方面や若葉台方面からの駅アクセス等を踏まえて世田谷町田線に接続する、高規格な道路を整備するものとしています。いただいた御意見につきましては、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
43	<p>駅北口の開発の前提として、私有地がある限り北口に直結する道路の拡張、道路と隣接した一体開発・高容積化は難しいと思う。よって、歩道と車道の分離が必要と考える。直結する道路は駅改札の高さから空中歩道化し、世田谷町田線にかけて緩やかにランディングさせ、車利用はNGとする。車は地上の駅前広場を最大限広さを取り、今の区役所前を経由し万福寺王禅寺線に向かう導線を車道拡張して確保すべきと思う。</p>	<p>駅北側地区における交通環境の改善には、既存の公有地だけで対策を行うことが困難であることから、区役所等の高経年化の状況等を踏まえるとともに、駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化により、官民連携して街区内の都市基盤の再編による抜本的な交通環境の改善を図るものとしております。</p> <p>事業手法等は具体的には決まっていますが、本基本的考え方に基づき、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備や駅アクセスの改善などを誘導してまいります。</p>	C

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
44	<p>具体的な区画の範囲が分からないので現段階では何とも言えない。北口ロータリーから新百合ヶ丘駅入口交差点までの高低差は約8mあり、歩行者デッキを用いることで本当に高低差を解決できるのか。また、どのように解決しようとしているのかがわからない。</p>	<p>駅北側地区における交通環境の改善には、既存の公有地だけで対策を行うことが困難であることから、区役所等の高経年化の状況等を踏まえるとともに、駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化により、官民連携して街区内の都市基盤の再編による抜本的な交通環境の改善を図るものとしています。</p> <p>また、官民連携したウォークアブルな歩行空間の整備を掲げ、駅と後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間の整備をめざしています。</p> <p>まちづくりの範囲を含め、現段階で、具体的な計画は決まっていますが、駅から連続する歩行者デッキの整備や各敷地内に歩行者デッキとフラットに接続する歩行空間の整備、建物内のエスカレーター等の活用など、官民連携した土地活用により高低差を上手に解消し、安全で快適な歩行者動線が実現するよう、本基本的考え方を基に、引き続き、検討を深度化してまいります。</p>	D
45	<p>世田谷町田線をオーバーパスする歩道橋計画であるのか、平面交差であるのか、新たな駅に向かうアクセス道路が駅前どこに行き着く計画か、また、どの民有地を大街区に含むのか、近年のまちづくりでは駅前広場を市民、駅利用者などを中心とした計画整備を行っているので、この傾向を反映し、車等は駅前広場の端に配置していく方がよいと思う。</p>	<p>駅北側地区における交通環境の改善には、既存の公有地だけで対策を行うことが困難であることから、区役所等の高経年化の状況や駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化により、官民連携して街区内の都市基盤の再編による抜本的な交通環境の改善を図るものとしています。</p> <p>また、駅とアートセンター等の後背地をつなぐバリアフリーな歩行者デッキ等により、駅を中心とした安全で快適に移動でき、回遊を促す歩行空間を創出するなど、官民連携して駅周辺の「歩いて楽しい居心地のよい」ウォークアブルな歩行空間の整備をめざしています。</p> <p>現段階で具体的な計画は決まっていますが、引き続き、本基本的考え方を基に、検討を深度化してまいります。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
46	<p>麻生区民にとっての当面の最大の課題は、商業施設利用などに起因する土曜日の夕方などの大渋滞であり、科学的な分析に基づいて将来の交通状況を予測することが必要と考える。本案によれば、この開発により渋滞が解消されると分析したようであるが、環境アセスメント結果を区民に公表してほしい。</p>	<p>駅北側地区の交通環境の改善に向けて、既存の公有地だけで対策を行うことが困難であることから、区役所等の高経年化の状況や駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化により、官民連携して街区内の都市基盤の再編を図るものとしています。</p> <p>本基本的考え方(案)は、これまで把握してきた市民意見や、周辺交通環境の基礎調査等を踏まえ、交通環境の改善や公共施設の建替えなどに関する駅北側地区のまちづくりの考え方を明らかにするもので、土地利用等の具体的な計画を決めているのではなく、環境アセスメント等の実施には至っていません。</p> <p>今後、本基本的考え方を基に、引き続き、検討を深度化し、検討の各段階に応じて、適切に計画を示してまいります。</p>	D
47	<p>小田急電鉄株式会社の協力を得て、新百合21ビルとローソンの間に改札口を新設し、ロータリー・公共施設と短距離かつ直線のイメージで接続してほしい。</p> <p>改札口を地上に建設出来ない場合は、小田急電鉄株式会社と地下化も検討してほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出に向けて、官民連携したオープンスペースの創出等により、駅コンコースから直結した『駅とまちをつなぐ歩いて楽しい「人」中心のウォークブルな駅前空間』を形成することとしており、こうした考え方を踏まえながら、歩行者にとって利便性の高い動線についても、検討を深度化してまいります。</p> <p>なお、鉄道事業者が整備する駅改札につきましては、御意見の趣旨を鉄道事業者にお伝えするとともに、駅北側におけるまちづくりの検討の進捗に合わせ、必要に応じて意見交換を行ってまいります。</p>	D
48	<p>小田急電鉄新百合ヶ丘駅の北口に改札口を設けて、シビックゾーンへの通路とつなげることで、歩行者にとってはかなり利便性が高くなると考える。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出に向けて、官民連携したオープンスペースの創出等により、駅コンコースから直結した『駅とまちをつなぐ歩いて楽しい「人」中心のウォークブルな駅前空間』を形成することとしており、こうした考え方を踏まえながら、歩行者にとって利便性の高い動線についても、検討を深度化してまいります。</p> <p>なお、鉄道事業者が整備する駅改札につきましては、御意見の趣旨を鉄道事業者にお伝えするとともに、駅北側におけるまちづくりの検討の進捗に合わせ、必要に応じて意見交換を行ってまいります。</p>	D
49	<p>交通結節点としての機能を高めつつ、周辺とつながるウォークブルな都市の形成といったコンセプトに賛成します。 (他同趣旨3件)</p>	<p>駅周辺の交通環境の改善に向けて、本基本的考え方に基づき、引き続き、検討を深度化してまいります。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
50	<p>新百合ヶ丘方面は車で行くには不便（渋滞する）という先入観から、新百合ヶ丘によほどの目的がない限り町田市を利用している。</p>	<p>本基本的考え方（案）では、駅周辺の喫緊の課題である交通環境の改善に向けた交通広場や道路等の整備に加えて、賑わいや魅力を創出する都市機能の誘導等を掲げています。 本基本的考え方に基づき、民間活力を活かしながら、持続的に発展するまちづくりをめざしてまいります。</p>	D
51	<p>近年は駅周辺の交通渋滞がひどく、特に日中から夕方にかけては駅へのアクセスを避けている状況であり、日常の買い物を含めて駅周辺の商業施設ではなく、若葉台駅周辺の商業施設を利用する等している。最寄りの新百合ヶ丘駅周辺の施設が一番使いづらい状況であることはとても残念で、街の継続的な発展を考える上で解消すべき課題と考える。</p>		D
52	<p>交通環境の改善について、新百合ヶ丘は車社会という前提で本まちづくりを検討する必要がある「徹底的に車利用者に優しいまちづくり」が必要だと考える。 具体的には①道路は片側2車線を基本、②広いロータリーの設置、③商業施設の出入りがしやすいことこそが住民が利用しやすいまちとなり、より若い世代にとって魅力的なまちになると考える。そのためには、官民、そして地元住民が協力してのまちづくりが必要不可欠と考える。 例えば、広い緑地帯（植え込み）がある道路はその一部をなくし道路を拡幅する。北口ロータリーは狭く待つことも難しいため、ニーズにあった広さにするなどを検討してほしい。 このまちの発展のためには何がベストなのかを考えて進めてほしい。</p>	<p>駅北側地区の抜本的な交通環境の改善に向けては、既存の公有地だけで対策を行うことが困難であることから、区役所等の高経年化の状況や駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化により、官民連携して街区内の都市基盤の再編をめざしてまいります。 また、都市基盤の再編として、駅周辺の公共交通等の円滑な通行を支える新たな交通広場等の整備や交通広場にアクセスする高規格な道路の整備等を検討するとともに、万福寺王禅寺線の交通実態に応じた道路の区画線の見直しや車道の一部拡幅などについても、段階的に検討してまいります。 今後も、本基本的考え方を基に、引き続き、より適切な交通環境の整備に向けて検討を深度化してまいります。</p>	D
53	<p>北側が良くなることにより南側が置き去りにならないように、駅南北の人流がもっと活発化するような施策が必要と考える。 また、新百合ヶ丘駅南口のデッキの中心にあるエレベーターは移設すべきだと思う。</p>	<p>令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、駅南側については、駅前空間の再編により、鉄道新規ネットワークの連携強化等の交通結節点としての機能強化を図るものとして位置づけるとともに、駅南北間及び中心部から後背地への連携を図る都市軸を掲げ、南北のにぎわい核を結ぶことでまち全体のにぎわいを創出するものとしています。</p>	D

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
54	<p>新百合ヶ丘駅入口交差点の慢性的渋滞への対応をお願いしたい。スクランブル交差点などの歩車分離を図ってもらいたい。また、新百合ヶ丘北口から百合ヶ丘方面への右折を禁止し、その先の新百合山手の通り経由で世田谷町田線へ誘導することはできないか検討してほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、駅周辺の交通環境を改善する駅アクセス等の整備を掲げ、新たな交通広場への円滑な交通や、千代ヶ丘方面や若葉台方面からの駅アクセス等を踏まえ、世田谷町田線等に接続する高規格な道路を整備することとしています。</p> <p>こうした新百合ヶ丘駅周辺の交通環境の抜本的な対策の実現には一定程度時間を要するため、既成市街地の中で限られた空間を有効に活用しながら、交通渋滞の緩和に向けて短期的な取組を並行して進めているところです。</p> <p>これまで、新百合ヶ丘駅入口交差点において、交差点に流入する車両の平準化を図り、交差点内の区画線の改良などを行っており、今後も、引き続き、実施可能な方策を検討してまいります。</p>	D
55	<p>区民祭りなどの際に、周辺道路を交通規制することを知らないバス利用者も多いので、バス停をデジタル化して、お知らせも配信されたらよいと思う。</p>	<p>バス停のデジタル化については、バス事業者により、待ち時間など、バス停でのデジタルサイネージによる運行情報の提供などを行っております。</p> <p>いただいた御意見については、バス事業者へお伝えしてまいります。</p>	E
56	<p>交通環境改善の考え方について、バス乗り場を南北に分ける考え方は、分かりにくくなると共に、北側に再編される公共施設との分断要素となり、ウォーカブルなまちづくりの障害にもなるので再考してほしい。</p> <p>横浜市営地下鉄延長の計画も考慮に入れ、ターミナルとしての機能を南側に集約する方がよいと思う。</p>	<p>駅周辺では、路線バスの発着が南口に集中していることで、バス利用者の利便性・速達性の低下や南北の往来による周辺道路への交通負荷といった課題が生じています。</p> <p>そのため、公共交通機能の適正配分等の観点から、本基本的考え方(案)においては、南口から発着しているバス路線全27路線のうち、約4割に相当する12路線を北側に移転することを見据えて、新たな交通広場を整備するとともに、歩行者デッキ等により、駅から各施設や後背地をつなぐ安全で快適な歩行者動線の整備をめざしてまいります。</p>	D

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
57	<p>新百合ヶ丘の利便性は向上するが、そこに至る世田谷町田線の渋滞や小田急線の複々線化など、川崎市には地域の交通問題にも至急かつ真剣に取り組んでほしい。</p>	<p>小田急線については、国土交通大臣の諮問機関である交通政策審議会において、登戸駅～新百合ヶ丘駅間の複々線化が位置付けられていることから、神奈川県内の自治体や経済団体で構成される「神奈川県鉄道輸送力増強促進会議」において、複々線化の要望を行っています。</p>	D
58	<p>交通環境の改善を掲げるなら、小田急線の向ヶ丘遊園～新百合ヶ丘駅間の複々線化・踏切廃止、世田谷町田線の片道二車線化など周辺環境の整備も、関係機関との連携しながら調整していただきたい。</p> <p>向ヶ丘遊園～新百合ヶ丘駅間は全区間複々線化は、用地買収の面から困難であっても、「向ヶ丘遊園～生田駅間まで複々線化+読売ランド前・百合ヶ丘駅は鶴川駅のような待避線拡幅」など部分的対応なら検討できるのではないかと思います。</p> <p>ブルーライン延伸を好機に、周辺の交通環境の並行整備強化を進めてほしい。</p>	<p>また、都市計画道路 世田谷町田線の整備未着手区間については、小田急線の複々線化計画と連携を図る必要があることから、道路整備プログラムへの位置づけに至っていませんが、引き続き鉄道輸送を取り巻く環境変化等の状況を注視するとともに、局所的な対策について交通管理者との協議調整が整った箇所から対策を行ってまいります。</p>	D
59	<p>シニアカー利用を前提とした空間設計の明示について、現在でも、買い物や通院のためにシニアカーを利用する高齢者を見かける機会が増えており、今後はさらに利用者が増加することが予想される。そのため、基本的な考え方の段階で、バリアフリー対策に加えて「シニアカー利用を想定した移動環境整備」を明示することを要望する。</p>	<p>令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、誰もが歩きやすく移動しやすい交通環境の整備を掲げており、多様な交通モードを踏まえた交通環境の整備は、必要な取組として認識しているところです。</p> <p>なお、シニアカーについては、道路交通法においては電動車椅子の一形態とされていることから、関係法令等を踏まえながら、誰もが移動しやすい交通環境の整備をめざしてまいります。</p>	B

3 交通体系について(119件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
60	<p>駅からシビックゾーンへの歩行者動線上には、このエリアだけを限定で走るグリーンスローモビリティの導入をしてほしい。そのためにも道路幅を広くとる計画にしてほしい。この南北間の歩道は、あさお区民まつり等の会場となり、「麻生区全体の活性化」に寄与すると考える。</p>	<p>令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、ウォーカブルなまちを支える多様な交通モードの導入を位置づけており、グリーンスローモビリティに限らず、時代に応じた多様な移動手段の検討が必要と考えております。</p> <p>本基本的考え方(案)では、歩行者デッキ等によるバリアフリーかつ官民連携したウォーカブルな歩行空間の整備を掲げ、駅と交通広場をつなぐ動線や後背地への動線は、隣接する民間施設とも連携し、「歩いて楽しい居心地のよい」ウォーカブルな歩行空間を整備するものとしており、歩行空間と連携した交通モードの導入に関する御意見につきましては、まちづくりの検討の深度化に合わせて参考とさせていただきます。</p>	C

4 都市環境について(44件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	<p>既存の公園、緑地などを活用しながら、自然を保全し、緑を活かしたまちづくりを進めてほしい。 (他同趣旨 8 件)</p>	<p>本基本的考え方(案)では、緑空間及び緑のネットワークの形成を掲げており、生物多様性豊かなまちづくりの実現に向けて、今後、策定予定の「川崎市みどりの将来像」とも整合を図りながら、まちのなかにおいても、より身近に自然と触れ合う、つながりのある緑を生み出すなど、積極的な緑の導入や緑の中への機能の導入など緑に触れ合う機会を創出するとともに、既存の緑地等との連携、一体性を持った緑のネットワークの形成をめざしてまいります。</p>	B
2	<p>北部地域としての緑の多さを風景の中にたくさん残してほしい。周辺の樹木を活かしてほしい。 (他同趣旨 2 件)</p>		B
3	<p>新百合ヶ丘は、野鳥が多い貴重な緑なので、ふるさと緑地を取り壊すことのないようにして、緑を活かしてほしい。</p>		B
4	<p>「一体的な緑」、「立体的な緑」の風景を、人工的に配置するのではなく、もともとある緑を活かすまちづくりを推進するとともに、「生物多様性」にも配慮し、既存の緑地や公園の緑を保全してほしい。</p>		B
5	<p>「生物多様性」の観点から、樹木は欠かせない考える。昨今の気候変動の影響で真夏の猛暑が顕著になってきていることから、まちの熱暑を軽減し、暮らす人たちを暑さから守る木陰を作るためにも、もっと積極的に樹陰が作れるような街路樹を再植樹すべきと考える。「緑を活かしたまちづくり」について前向きに検討してほしい。</p>		B
6	<p>駅前の緑だけでなく、通りの街路樹や住宅地などの、より身近なみどりについても、配慮したまちづくりを推進してほしい。</p>		B

4 都市環境について(44件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
7	<p>万福寺さとやま公園内に草花が植樹されているが公有地として市で管理して大切な緑地に極力手を加えず保全して欲しい。また、公園内の自転車の通行が常態化しているため、公園内に自転車専用レーンを設けてほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、まちのなかにおいても、より身近に自然と触れ合う、つながりのある緑を生み出すなど、積極的な緑の導入や緑の中への機能の導入など緑に触れ合う機会を創出するとともに、既存の緑地等との連携、一体性を持った緑のネットワークの形成を掲げており、今後、策定予定の「川崎市みどりの将来像」とも整合を図りながら、引き続き、生物多様性豊かなまちづくりをめざしてまいります。</p> <p>駅周辺の緑地・公園内の管理・保全に関する御意見につきましては、今後の管理等の参考にさせていただきます。</p>	C
8	<p>「バイオフィリックデザイン」という用語はよくわからないので、用語の解説をしてほしい。</p>	<p>「バイオフィリックデザイン」とは、「人間には“自然とつながりたい”という本能的欲求がある」という概念を空間に反映し、建築物に植物、自然光、水、香り、音等の自然環境の要素を反映したデザインを指します。バイオフィリックデザインを屋内外に関わらず、建築や都市空間に取り入れることにより、「幸福度の向上」、「生産性の向上」、「創造性の向上」などの様々な効果が期待されます。</p> <p>御意見を踏まえ、本基本的考え方に「バイオフィリックデザイン」の用語の解説を追記しました。</p>	A
9	<p>みどりのまちづくりについては、生物多様性の専門的な有識者やこれまでのまちづくりの経過を知っている市民の意見を踏まえて検討を進めてほしい。</p>	<p>これまで、駅北側の課題の改善やより魅力ある広域拠点の形成に向けて、駅北側のまちづくりの方向性を定め、市民や関係権利者等と共有し、協働・連携により、駅北側の適切な土地利用や賑わいを創出する市民活動などのまちづくりを進めるために「新百合ヶ丘駅北側地区まちづくりの基本的考え方」を作成したところでございます。</p> <p>引き続き、本基本的考え方を基に、駅周辺の各種イベントなどの様々な機会を活用し、市民の皆様の意見を伺うとともに、今後、策定予定の「川崎市みどりの将来像」とも整合を図りながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	B

4 都市環境について(44件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
10	<p>麻生川は、春の桜の時期には人を惹きつける力があり、住民の満足と持続可能な賑わいを生み出せる資産だと考えていることから、麻生川の魅力を活かした自然と川に向かって歩きたくなるような空間をつくってほしい。</p>	<p>緑あふれる潤いある都市環境の整備に向けて、新百合ヶ丘の魅力である駅周辺の豊富な緑を活かしながら、周辺の街路樹計画や住宅地の緑など、より身近な緑とも連携した「緑のネットワークの形成」をめざしてまいります。</p> <p>いただいた御意見につきましては、今後の都市環境整備の取組に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
11	<p>千代ヶ丘方面にも緑はあります。小学生たちに昔の新百合ヶ丘周辺がどうだったのか、どういう生き物がいたのかなど、伝えられる施設を作ったらどうでしょうか。</p>	<p>緑あふれる潤いある都市環境の整備に向けて、新百合ヶ丘の魅力である駅周辺の豊富な緑を活かしながら、周辺の街路樹計画や住宅地の緑など、より身近な緑とも連携した「緑のネットワークの形成」に向け、まち全体を緑豊かに印象づける緑の空間形成をめざしてまいります。</p> <p>また、緑や生物多様性の情報発信に関するご意見につきましては、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>	C
12	<p>縁空間及び緑のネットワーク形成に向けた、具体的な緑化率の目標値を示してほしい。</p>	<p>本基本考え方(案)では、具体的な緑化率の目標値は設定しておりません。今後、駅北側の大規模な土地利用をリーディングプロジェクトとして、従来の緑化率の指標だけでなく、緑視率や緑の設置場所など、様々な視点で周囲の緑と連続した「一体的な緑」の風景の創出や階層的な緑の配置等による「立体的な緑」の風景を創出し、まち全体を緑豊かに印象付ける象徴的な緑の空間形成を誘導してまいります。</p>	D
13	<p>自然と調和したシビックゾーンの形成について、「緑あふれるオープンスペースの創出」や「新百合ヶ丘の魅力(芸術・文化、緑、地域活動等)がまち全体へ波及されることが期待される」取組の具体的な内容を教えてほしい。</p>	<p>自然と調和したシビックゾーンの形成については、新百合ヶ丘の個性である「芸術・文化や緑」を最大限に活かした、麻生区のシンボルとなるような魅力的な公共施設を目指して、ふるさと緑地などの地域資源とも連携しながら、緑あふれるオープンスペースを創出するなど、居心地の良い多世代の交流が可能なコミュニティの場の形成を推進することを掲げております。</p> <p>今後、建替えを行う公共施設の基本計画を検討する中で、まちの魅力向上にもつながる麻生区のシンボルとなるような施設計画と合わせて、緑地について、どのような形で連携・活用していくかを検討してまいります。</p>	D

4 都市環境について(44件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
14	<p>駅周辺に緑と連携したオープンカフェやベンチなど居心地よく滞留でき、回遊性を高めるウォーカブルな空間を形成してほしい。 (他同趣旨 7 件)</p>	<p>本基本的考え方(案)では、駅とまちをつなぐ「人」中心のウォーカブルな駅前空間の形成を掲げており、官民連携した緑やオープンスペース(ベンチ、広場等)等の創出により、様々な世代の地域コミュニティの場や居心地の良いまちなみ空間の形成をめざしてまいります。</p>	B
15	<p>新百合ヶ丘駅周辺に長く滞在できるような緑地空間を設置してほしい。 (他同趣旨 2 件)</p>		B
16	<p>樹木の下にベンチを置いて誰もが休める場所をたくさん作ってほしい。</p>		B
17	<p>駅からシビックゾーンに向かう経路について「川崎市みどりの将来像(案)」に示されている市街地の将来像イメージのような駅前にしてほしい。</p>		B
18	<p>駅周辺の住民が積み上げてきた街の魅力をベースとして、しんゆりの魅力をさらに向上させるためのHUB的な機能を果たす駅前のウォーカブルな空間やひろば(緑)を充実してほしい。既存の公園や広場を分断するのではなく、つなげる役割を担う緑のネットワークの形成、南口と北口が一体となる街づくりをしてほしい。用事がなくても来たくなる、人が自然発生的に集う場所づくりのベースとなる居場所としてほしい。</p>		B

4 都市環境について(44件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
19	<p>新百合ヶ丘のまちづくりで生物多様性を進めるなら、多摩丘陵や鶴見川流域の緑と水のネットワークを考えた広域的な「緑の回廊」という視点を持ったまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>本基本的考え方では、官民連携による豊かな緑空間の形成に向けて、公共空間の積極的な緑化や既存の緑の積極的な活用、また、都市軸の充実として、駅中心部の緑の連続性の創出による駅周辺の緑のネットワークの強化を図ることとしており、広域的な視点においても「新百合ヶ丘地区緑化重点計画（基本方針①水と緑の回廊づくり、②多様な緑づくり、③緑を楽しむ仕組みづくり）」や今後、策定予定の「川崎市みどりの将来像」とも整合を図りながら、緑あふれる潤いある都市環境の整備に取り組んでまいります。</p>	D
20	<p>駅周辺において、夜間照明等の充実など防犯性の高いまちづくりを推進してほしい。 (他同趣旨3件)</p>	<p>道路の街灯の整備等の御意見については、駅周辺のまちづくりに合わせて、いただいた御意見を参考にしながら取り組んでまいります。</p>	C
21	<p>ゴミのポイ捨て対策など、環境美化を推進してほしい。</p>	<p>いただいた御意見については、今後の環境美化の取組に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
22	<p>緑や農を身近に感じられるまちづくりとして、避難場所としても使える大規模な市民農地等を新設してほしい。また、区役所前広場にはかつて樹木が植えられていたが、現在ではほとんどが伐採されてしまったため、開発時には再び樹木を植えてほしい。</p>	<p>駅至近の大規模な土地利用計画等の際には、帰宅困難者の一時滞在施設の確保、災害時の物資の確保や交通機関の運行情報の伝達手法の検討など、災害時に備えた取組を官民連携して進めるとともに、建物等については、災害に強い先進的な構造等の防災効果の高い取組を積極的に誘導してまいります。 いただいた御意見については、今後、災害時に備えた取組の検討の深度化の際に参考とさせていただきます。 また、自然と調和したシビックゾーンの形成に向けて、新百合ヶ丘の個性である「芸術・文化や緑」を最大限に活かした、麻生区のシンボルとなるような魅力的な公共施設をめざして、ふるさと緑地などの地域資源とも連携しながら、緑あふれるオープンスペースを創出するなど、居心地の良い多世代の交流が可能なコミュニティの場を形成を推進してまいります。</p>	C

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	公共施設の機能更新については、単なる建替えにとどまらず、多様な機能導入など、魅力的で使いやすい施設をめざしてほしい。 (他同趣旨 9 件)	公共施設の建替えにあたっては、多様な機能導入等による利便性や魅力の向上を図り、多様化する市民ニーズ等に対応し、市民の利用や参加のさらなる促進につながる様々な付加価値を生み出す施設をめざし、地域資源の積極的な活用を図りながら、まちの魅力向上にもつながる麻生区のシンボルとなるような施設計画を検討し、令和 9 (2027) 年度の「駅北側の公共施設の基本計画」策定をめざしてまいります。 いただいた御意見については、同基本計画の今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。	C
2	万福寺ふるさと緑地なども活用しながら、人が集う緑の中の図書館を計画してほしい。 (他同趣旨 2 件)		C
3	万福寺ふるさと緑地やアートセンターと物理的につながり、連携することで新しい多様な機能を導入したシビックゾーンを計画してほしいです。		C
4	建て替える麻生区役所については、防災拠点（避難場所）となるような設計をしてほしい。		C
5	建て替える市民館については、多様な使われ方を担える規模（2,000席程度）の設計をしてほしい。		C
6	建て替える休日急患診療所については、傾斜地の特性を活かして地下階を設けるなど、麻布台ヒルズなどを参考にした設計をしてほしい。		C
7	行政施設はなるべく必要な機能に絞って集約する方が望ましく、そのためにも現状あるものをベースに考えるのではなく、将来的に必要と思われる規模や機能を見極めて検討してほしい。		C
8	図書館については、移設にするにしても、文化を大切にす川崎市麻生区にとって縮小することなく、むしろ規模を拡大してほしい。		C

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
9	<p>これからの全世代ニーズを得る良い事例として、「大和市シリウス」「稲城市図書館」の複合施設はとても成功していて理想的な建造物だと思う。大型カフェ、公園、老人ケアホーム、児童会館、保育所も併設していたら、市民にはさらに喜ばれると思う。</p>	<p>公共施設の建替えにあたっては、多様な機能導入等による利便性や魅力の向上を図り、多様化する市民ニーズ等に対応し、市民の利用や参加のさらなる促進につながる様々な付加価値を生み出す施設をめざし、地域資源の積極的な活用を図りながら、まちの魅力向上にもつながる麻生区のシンボルとなるような施設計画を検討し、令和9(2027)年度の「駅北側の公共施設の基本計画」策定をめざしていきます。</p>	C
10	<p>麻生区民センターはもう少し華やかな催し物をやると魅力的だと思う。市民の発表の場が中心ではもったいないように思うため、しっかりしたコンサートができるように整えるとよいと思う。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、同基本計画の今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
11	<p>公共施設の再編については、複合施設として容積率を有効活用したものにしてほしい。低層に商業施設、中層に区役所・図書館、高層に市民ホールといった官民一体の複合施設も検討してほしい。</p>		C
12	<p>地域資源との連携について、将来的に公共施設は自治体だけが運営するのではなく、利用者、地域住民と行政がともに主体的に携わり、時代や社会状況の変化にも対応できる、しなやかな運営ができるような仕組みにしてほしい。</p> <p>これらの公共施設が、森や林など残された自然環境と調和して、利用する市民の心を和ませ、公共施設で集う市民や自治体職員が一体となって保存活動に関わり、市民、自治体、自然が融和する効果をもたらすことも期待する。</p> <p>その効果は、あらゆる世代を引きつけ、多様な世代間交流を可能にする。自然も公共施設も作ったらおしまいではなく、市民と行政職員とともに育てていく協働によって成長・発展させてほしい。</p>		C

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
13	<p>図書館は大和市中央林間図書館のような、本をゆったりと読める、座り心地の良い椅子が程よくある、明るい雰囲気図書館を作してほしい。</p> <p>コンサートホールは青葉台駅近くのフィリアホールのような、大き過ぎず、小さ過ぎない、音響の良いコンサートホールを作してほしい。</p>	<p>公共施設の建替えにあたっては、多様な機能導入等による利便性や魅力の向上を図り、多様化する市民ニーズ等に対応し、市民の利用や参加のさらなる促進につながる様々な付加価値を生み出す施設をめざし、地域資源の積極的な活用を図りながら、まちの魅力向上にもつながる麻生区のシンボルとなるような施設計画を検討し、令和9(2027)年度の「駅北側の公共施設の基本計画」策定をめざしていきます。</p>	C
14	<p>区役所、図書館、ホールの建替えは行ってほしい。容積緩和で高層化をして、上層階を民間化または市営住宅にするなど検討してもらいたい。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、同基本計画の今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきます。</p>	C
15	<p>シビックゾーンが北側の奥にくることは、エリア全体の回遊性を促すため、良いと思う。 (他同趣旨3件)</p>	<p>本基本的考え方(案)では、世田谷町田線とのアクセス性や地域資源であるふるさと緑地やアートセンターとの連携を踏まえたエリアにシビックゾーンを形成していくことを掲げており、快適な歩行者動線の整備や建替える施設の複合化などにより施設相互の往来を促しながら、質の高い市民サービスの提供や地域資源の魅力(芸術・文化・緑等)を活かし、駅周辺のにぎわいや活性化に寄与する施設計画を検討してまいります。</p> <p>また、シビックゾーンへの駅からの快適な歩行者動線の整備に向けて、多様な交通手段や多方面からのアクセス性を考慮しつつ、移動経路の高低差解消、民間活力を活かした沿道のにぎわい創出、官民敷地のシームレスな機能連携により、魅力的で利便性の高い経路整備をめざしてまいります。</p>	B
16	<p>高齢者が多い麻生区を中心の駅前のシビックゾーンが遠くなるには不安がある。高齢者の公共施設へのアクセス等については、十分に考慮して欲しい。 (他同趣旨1件)</p>		B
17	<p>シビックゾーンがまとまることで、駅北口のバラバラ感が無くなり、施設間の連携が良くなることはよいと思う。 (他同趣旨1件)</p>		B
18	<p>公共施設を1か所にまとめ、周囲に緑を配置しシビックゾーンとすることは、落ち着いた雰囲気が出てよいと思う。 (他同趣旨1件)</p>		B
19	<p>老朽化している公共施設については、点在しており、回遊性の低い状況となっているため、「各施設の一体的な建替え」に賛成します。</p>		B

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
20	建設中の施設の休館や、完成後の施設使用料の値上げなど、市民活動への影響に配慮をしてほしい。 (他同趣旨1件)	公共施設の整備中や整備後の使用等に関する御意見につきましては、今後の施設運営や管理等の参考とさせていただきます。	C
21	経済効果、投資効果だけで区民の公共施設をより北側の遠方に移動させるには十分な説明が必要と考える。元々は現在の市民館周辺は区民の税金で購入した公共用地であり、その用地を用いて大きな投資効果を得ようとする考えは、民間企業ならともかく公的機関として必要なかと思う。道路渋滞の解消に大きな費用が必要であれば、それを起こした原因者にも相応の負担を求めるべきではないかと考える。	本基本的考え方(案)では、高経年化した公共施設を建て替えていく上で、「アクセス性」、「防災性」、「地域資源との連携」、「経済性」の視点から、それぞれ望ましい配置を検討し、世田谷町田線とのアクセス性や地域資源であるふるさと緑地やアートセンターとの連携を踏まえたエリアとして、シビックゾーンの形成をめざしていくこととしています。シビックゾーンの形成に向けては、質の高い市民サービスの提供や地域資源を活かした施設計画とともに、駅周辺の回遊を促進する歩行者空間等を検討し、駅周辺のにぎわいや活性化をめざしてまいります。	D
22	公共施設の建替えと継続使用の比較検討の視点に「地形等によるアクセス容易性の視点」や「公共性の視点」を入れてほしい。 高低差がある場所なので、今よりアクセス容易性を悪くしてほしくない。また、そもそも公共施設は公共の目的があって公的機関の責任によって行政サービスを提供している。その点は「機能更新」に含まれるとも思えない。指定管理者制度を導入して民間が運営・管理するとしても公的機関が行うべき行政サービスを提供することは変わらないと考える。 アクセス容易性からいけば、予定している場所で複合施設で高層化すると、子どもや高齢者、障害をもつ者にとってはアクセスが今より悪くなる。基本、行政サービスの利用は当事者の申請がないと使えませんので、申請する者に利用しやすいような空間設計をしてほしい。	本基本的考え方(案)では、世田谷町田線とのアクセス性や地域資源であるふるさと緑地やアートセンターとの連携を踏まえたエリアにシビックゾーンを形成していくことを掲げており、快適な歩行者動線の整備や建替える施設の複合化などにより施設相互の往来を促しながら、質の高い市民サービスの提供や地域資源の魅力(芸術・文化・緑等)を活かし、駅周辺のにぎわいや活性化に寄与する施設計画を検討してまいります。 また、シビックゾーンへの駅からの快適な歩行者動線の整備に向けて、多様な交通手段や多方面からのアクセス性を考慮しつつ、移動経路の高低差解消、民間活力を活かした沿道のにぎわい創出、官民敷地のシームレスな機能連携により、魅力的で利便性の高い経路整備をめざしてまいります。	D
23	消防署は駅近くにある必要は無く、世田谷町田線沿いで良いと思う。(他同趣旨3件)	消防署等の防災関連施設の適正な機能維持については、緊急輸送道路に位置付けられる世田谷町田線へのアクセス性の向上を図るなど、防災性の高い配置計画をめざしてまいります。	B
24	消防署は今の場所ではとても不便で、スムーズに出入りできない。世田谷町田線へ建設したほうがよいと思う。		B

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
25	消防署は混雑する駅前から出動する必要性は無いと考えるので、担当区域の同心円の中心位置付近への移設が妥当だと思う。	駅北側の官民敷地の一体的な大街区化などにより、高経年化した公共施設の効率的・効果的な建替えをめざしており、消防署の位置は、緊急輸送道路に位置付けられる世田谷町田線へのアクセス性を踏まえるなど、防災性の高い配置計画となるよう検討を深度化してまいります。	C
26	消防署や区役所の移設を優先的に進めてほしい。これらの施設は必ずしも駅前にある必要はなく、駅前には商業施設やマンション等、より適した土地利用を誘導すべきと考える。 (他同趣旨3件)	本基本的考え方(案)では、世田谷町田線とのアクセス性や地域資源であるふるさと緑地やアートセンターとの連携を踏まえたエリアにシビックゾーンを形成していくことを掲げており、快適な歩行者動線の整備や建替える施設の複合化などにより施設相互の往来を促しながら、質の高い市民サービスの提供や地域資源の魅力(芸術・文化・緑等)を活かし、駅周辺のにぎわいや活性化に寄与する施設計画を検討してまいります。 また、駅前においては、土地の高度利用や大街区化により大規模フロア面積の実現するとともに、高密度に多様な都市機能の集積をめざし、商業機能を中心に業務、居住機能などの複合的な用途・機能の相乗効果を生み出し、新たな活動や交流が促進され、持続的に発展するまちをめざしてまいります。	B
27	公共施設は駅から近い今の位置がよいと思う。	本基本的考え方(案)では、「アクセス性」、「防災性」、「地域資源との連携」、「経済性」の視点から、それぞれ望ましい配置を検討し、世田谷町田線とのアクセス性や地域資源であるふるさと緑地やアートセンターとの連携を踏まえたエリアにシビックゾーンを形成していくことを掲げており、快適な歩行者動線の整備や建替える施設の複合化などにより施設相互の往来を促しながら、質の高い市民サービスの提供や地域資源の魅力(芸術・文化・緑等)を活かし、駅周辺のにぎわいや活性化に寄与する施設計画を検討してまいります。	D
28	図書館は、麻生区役所前か駅直結ビル内に配置したほうが利便性がよいと思う。	また、シビックゾーンへの駅からの快適な歩行者動線の整備に向けて、多様な交通手段や多方面からのアクセス性を考慮しつつ、移動経路の高低差解消、民間活力を活かした沿道のにぎわい創出、官民敷地のシームレスな機能連携により、魅力的で利便性の高い経路整備をめざしてまいります。	D

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
29	「行政機能の効率的な建替え」とは複合高層施設化ということならば、公共施設の配置検討の視点の(1)アクセシビリティや(2)防災性と矛盾すると思う。	シビックゾーンの形成に向けては、快適な歩行者動線の整備や建替える施設の複合化などにより施設相互の往来を促しながら、質の高い市民サービスの提供や地域資源の魅力(芸術・文化・緑等)を活かし、駅周辺のにぎわいや活性化に寄与する施設計画を検討することとしております。 また、「アクセシビリティ」については、シビックゾーンへの駅からの快適な歩行者動線の整備に向けて、多様な交通手段や多方面からのアクセシビリティを考慮しつつ、移動経路の高低差解消、民間活力を活かした沿道のにぎわい創出、官民敷地のシームレスな機能連携により、魅力的で利便性の高い経路整備をめざすとともに、「防災性」については、消防署等の防災関連施設の適正な機能確保に向けて、緊急輸送道路に位置付けられる世田谷町田線へのアクセシビリティの向上を図るものです。	D
30	麻生市民館の新設時は多くの市民が、議論を重ね関わってきており、今回の建替えについても時代にふさわしいものにすべきであるとともに未来を展望したものでなければならないため、多くの文化、芸術の関係者、市民から意見を広く聞くべきと考える。	本基本的考え方(案)では、公共施設の建替えについて、多様な機能導入等による利便性や魅力の向上を図り、多様化する市民ニーズ等に対応した様々な付加価値を生み出す麻生区のシンボルとなるような施設計画を検討し、令和9(2027)年度に「駅北側の公共施設の基本計画」策定をめざすことを掲げており、引き続き、本基本的考え方を基に、ワークショップや駅周辺の各種イベントなどの様々な機会を活用し、市民の皆様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。	C
31	デジタル社会、マイナンバーカードの導入により区役所の機能は大きく変わろうとしている中で、次の時代の区役所の在り方については、有識者や市民の意見を聴取し、日本でのモデルケースとなるような区役所に建て替えてほしい。		C
32	麻生区のシンボルとなるような魅力的な公共施設について、新百合ヶ丘らしさの検討には、新百合ヶ丘の地権者、業者だけでなく、一般住民が恒常的に参加して、自治体と市民との協働で進めるべきと考える。		C

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
33	<p>今後のまちづくりの進め方については、川崎市の自治基本条例に則り、積極的に住民参加で進めてほしい。</p> <p>令和8年に計画されている「駅北側の公共施設の立替えに向けた基本計画の検討」について、麻生区の住民や公共施設の利用者が参加し、意見を述べる場を確保してほしい。そして、自治体の考え方、再開発業者の考え方だけで計画を進めるのではなく、住民や利用者の意見も対等に検討してほしい。検討にあたっては、最終案を示すだけでなく、検討のプロセスも公開してほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、公共施設の建替えについて、多様な機能導入等による利便性や魅力の向上を図り、多様化する市民ニーズ等に対応した様々な付加価値を生み出す麻生区のシンボルとなるような施設計画を検討し、令和9(2027)年度に「駅北側の公共施設の基本計画」の策定をめざすことを掲げており、引き続き、本基本的考え方を基に、ワークショップや駅周辺の各種イベントなどの様々な機会を活用するなど、市民の皆様の意見を伺っていくとともに、市のホームページなどで検討経過等を示しながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	C
34	<p>大街区化について、どの範囲を対象としているのかわからない。また、消防署や区役所をどこに移転するのか、大街区化の中に建てたビルに収容するのか、分かりやすい案を示してほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、将来的な建替えではなく、官民敷地の一体的な活用による大街区化を図り、都市基盤整備と併せて、公共施設の建替えや駅前の都市機能誘導を同時に進めることの妥当性や効率的かつ効果的な公共施設の建替えが可能となるエリアの考え方をお示ししており、具体的な敷地設定や事業手法等は決まっています。</p>	D
35	<p>区役所、市民館、休日急患診療所については、早急に建替えてほしい。建替えに際しては、うまく余地を活用して、施設を継続しながら行うとともに、建替え費用については、クラウドファンディングなど活用し資金提供を市民に広く呼びかけてほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、将来的な建替えではなく、官民敷地の一体的な活用による大街区化を図り、都市基盤整備と併せて、公共施設の建替えや駅前の都市機能誘導を同時に進めることの妥当性や効率的かつ効果的な公共施設の建替えが可能となるエリアの考え方をお示ししており、具体的な敷地設定や事業手法等は決まっています。</p> <p>今後、策定する公共施設の建替えに関する基本計画の内容を踏まえ、検討・調整してまいります。</p>	D

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
36	<p>建設費高騰の今、公共施設すべての移転を前提にするような計画を立てるのは同意できない。民間敷地の部分だけで北口の利便性はまず確保できる。その後は段階的に再開発すればよいと考える。</p>	<p>将来的な建替えを行う場合、官民連携したまちづくりの可能性を狭め、交通環境の改善を困難にするなど、将来的により困難な課題を残すことになるものと考えております。駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化を図り、都市基盤整備と併せて、公共施設の建替えや駅前の都市機能誘導を同時に進めることが妥当と考えております。</p>	D
37	<p>本計画は、公共施設の建替えをした場合と建替えない場合の経済比較をしているようだが、経済比較の根拠データを明示した上で区民の議論を進めることが必要と思う。</p>	<p>本「基本的考え方(案)」では、民有地における開発機運の高まりを踏まえ、「官民敷地の一体的な活用による大街区化を前提とした建替え」を行う場合と「現施設を継続使用し、将来的に官の敷地だけでの建替え」を行う場合の経済的な視点を含めた比較を行っております。</p> <p>経済的な視点においては、現施設を継続使用し、将来的な建て替えを官の敷地だけで実施する場合、仮移転を要し、そのための費用が必要となる点などを挙げていますが、施設計画は確定ではなく、具体的な費用比較ではないため、経済性については、本基本的考え方(案)では、評価の優劣をつけないこととして整理しております。</p> <p>また、将来的な建替えを行う場合、官民連携したまちづくりの可能性を狭め、交通環境の改善を困難にするなど、将来的により困難な課題を残すことになることから、駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化を図り、都市基盤整備と併せて、公共施設の建替えや駅前の都市機能誘導を同時に進めることが妥当と考えております。</p>	D
38	<p>基本的考え方で示される公共施設の配置等については、確定している内容なのか。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、将来的な建替えではなく、官民敷地の一体的な活用による大街区化を図り、都市基盤整備と併せて、公共施設の建替えや駅前の都市機能誘導を同時に進めることの妥当性や効率的かつ効果的な公共施設の建替えが可能となるエリアの考え方をお示ししており、具体的な敷地設定や事業手法等などは決まっていません。</p> <p>具体的な敷地設定や事業手法等については、令和9年度策定予定の「駅北側の公共施設の基本計画」の検討等を踏まえながら、今後、検討・調整してまいります。</p>	D

5 公共施設について(65件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
39	<p>公共施設への来訪手段は車を中心に考えているのか。ウォークアブルという点を重視してほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)では、世田谷町田線に接するふるさと緑地やアートセンターと連携可能な位置を、シビックゾーンとして形成することを掲げており、シビックゾーンへの駅からの快適な歩行者動線の整備に向けて、多様な交通手段や多方面からのアクセス性を考慮しつつ、移動経路の高低差解消、民間活力を活かした沿道のにぎわい創出、官民敷地のシームレスな機能連携により、魅力的で利便性の高い経路整備をめざしてまいります。</p>	B
40	<p>区役所、図書館、市民ホールはバリアフリー対応等の改修だけでまだまだ立派に使えると思うため、このタイミングで建替えを行う必要はないと感じる。</p>	<p>麻生区役所、麻生市民館・図書館については、既に築40年以上が経過しており、市内において最も古い区役所となっております。こうした状況の中で、将来的な建替えを行う場合、官民連携したまちづくりの可能性を狭め、交通環境の改善を困難にするなど、将来的により困難な課題を残すことになるものと考えております。駅北側のまちづくりの機運の高まりを捉え、官民敷地の一体的な活用による大街区化を図り、都市基盤整備と併せて、公共施設の建替えや駅前の都市機能誘導を同時に進めることが妥当と考えております。</p>	D
41	<p>アートセンターについては、経営方法含め見直してほしい。映像ホールの規模や劇場の規模がニーズにマッチしていないと感じる。アートセンターを現状のまま継続して利用するのであれば、ふるさと緑地の有効活用も含めて、市民から広く意見を募り、市民の利用しやすい施設としてリニューアルしてほしい。また、アートセンターについても防災拠点としての機能を付与してほしい。</p>	<p>川崎市アートセンターについては、築18年の比較的新しい施設であることから、本基本的考え方(案)の中では、一体的な建替えの対象とはしておりませんが、より多くの市民の方に利用しやすい施設となるよう、いただいたご意見につきましては、今後の川崎市アートセンターの運用・管理の参考とさせていただきます。</p>	C

6 横浜市高速鉄道3号線について(14件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	<p>地下鉄の延伸にも期待しており、人を呼び込むまちづくりを期待している。 (他同趣旨5件)</p>	<p>横浜市高速鉄道3号線(横浜市営地下鉄3号線)の延伸については、広域的な鉄道ネットワークの形成とともに、本市北部地域の一層のアクセス性、利便性の向上や地域の活性化など、持続可能なまちの発展に寄与する大変重要な事業であることから、横浜市と連携しながら、早期の鉄道事業許可取得に向けた国等関係機関との協議調整に取り組んでまいります。</p>	B
2	<p>新百合ヶ丘駅を広域的な交通結節点として強化する横浜市営地下鉄3号線延伸は、単なる利便性向上にとどまらず、移動時間短縮や回遊性向上を通じて、人口が増えなくても都市の生産性を高める基盤として位置づけることが有効と考える。鉄道整備の効果は、居住人口の増加そのものよりも、就業機会へのアクセス拡大や可処分時間の増加を通じて、都市活動を活性化させる点にあることが各地で確認されている。さらに、交通結節機能の検討にあたっては、将来的な人手不足も見据え、交通体系の持続可能性という視点をより明確に位置づけることが重要と考える。人的投入に強く依存する交通手段は維持が困難になるリスクがある一方、鉄道はワンマン化や駅業務の省人化、自動化を進めやすく、人口減少社会においても相対的に安定した交通基盤となり得る。</p>		B

6 横浜市高速鉄道3号線について(14件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
3	<p>東京都との結節点に加え、地下鉄3号線延伸計画もあり、今後も人々の流れは多くあると思うので、新百合ヶ丘駅が今より暮らしやすく、賑やかかつ魅力あるまちになることを期待している。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様のご意見を伺いながら、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出等に向けて取組を進めてまいります。</p> <p>なお、横浜市高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄3号線）の延伸につきましては、広域的な鉄道ネットワークの形成とともに、本市北部地域の一層のアクセス性、利便性の向上や地域の活性化など、持続可能なまちの発展に寄与する大変重要な事業であることから、横浜市と連携しながら、早期の鉄道事業許可取得に向けた国等関係機関との協議調整に取り組んでまいります。</p>	B
4	<p>北側地区の開発により、新百合ヶ丘の魅力を高め、ブルーライン延伸による事業効果をより高くし、延伸の実現にもつなげてほしい。採算性が厳しくなった延伸を実現するためには、どれくらい再開発で新百合ヶ丘を発展させないといけないといった分かりやすい発信も行ってほしい。</p>		B

6 横浜市高速鉄道3号線について(14件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
5	<p>駅北口から地下へ至るルートを確認し、市営地下鉄3号線へのアクセスを確保すべきと考える。</p>	<p>本基本的考え方を基に、引き続き、様々な機会を捉え、市民の皆様のご意見を伺いながら、広域拠点にふさわしいにぎわいあふれる駅前空間の創出等に向けて取組を進めてまいります。</p> <p>また、令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、横浜市高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄3号線）などを見据えたまちづくりの方針図をお示ししており、駅南北間及び中心部から後背地への連携を図るデッキレベルでの都市軸を位置づけ、南北のにぎわい核を結ぶことでまち全体のにぎわいを創出するものとしています。</p>	D
6	<p>横浜市営地下鉄ブルーラインがあざみ野から新百合ヶ丘南口まで延伸する計画について、駅を新百合ヶ丘北側より先へ更に延伸してほしい。</p> <p>現時点で難しい場合でも、将来延伸できるような、新しい新百合ヶ丘駅の構造や北口エリアの地下構造をあらかじめ考えてほしい。</p> <p>(他同趣旨1件)</p>	<p>横浜市高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄3号線）の延伸については、広域的な鉄道ネットワークの形成とともに、本市北部地域の一層のアクセス性、利便性の向上や地域の活性化など、持続可能なまちの発展に寄与する大変重要な事業であることから、横浜市と連携しながら、早期の鉄道事業許可取得に向けた国等関係機関との協議調整に取り組んでまいります。</p> <p>また、横浜市高速鉄道3号線の駅位置につきましては、新百合ヶ丘駅南口付近に計画しておりまして、北側への延伸の計画はございません。詳細につきましては、横浜市と連携し、周辺環境や施工性などを考慮しながら決定してまいります。</p>	D
7	<p>北口のみ先行開発に突き進んでいるように思うが、まずは横浜市営地下鉄の延伸（終点：新百合ヶ丘南口）での駅位置を公表してほしい。駅と北口及び現小田急線新百合ヶ丘駅との動線はどう考えているのか、デッキの拡幅あるいは新たなデッキを考えるのか、小田急電鉄はどう考えているのかを示してほしい。</p> <p>地下鉄との接続を明確にさせてから北口の開発計画を進めていかないと、再度手戻りの駅前開発となってしまう恐れがある。これらに関して川崎市から具体的話がないまま進んできている。市民には重要な計画なので考え方を明確にした方がよいと思う。</p>	<p>令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、横浜市高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄3号線）などを見据えたまちづくりの方針図をお示ししており、駅南側については、駅前空間の再編により、鉄道新規ネットワークの連携強化等の交通結節点としての機能強化を図るものとして位置づけるとともに、駅南北間及び中心部から後背地への連携を図るデッキレベルでの都市軸を位置づけ、南北のにぎわい核を結ぶことでまち全体のにぎわいを創出するものとしています。</p> <p>また、駅北側地区を戦略的誘導エリアとして先行して検討するものとしており、駅南側に集約されているバス路線を北側に移転することにより、駅南側の駅前空間の再編にも寄与するものと考えております。</p>	D

6 横浜市高速鉄道3号線について(14件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
8	<p>横浜市営地下鉄の新百合ヶ丘延伸について触れられていないが、まちづくりにあたっては地下鉄延伸も考慮した内容にしてほしい。その場合、北口から市営地下鉄の新百合ヶ丘駅への歩行動線についても検討してほしい。</p>	<p>令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、横浜市高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄3号線）などを見据えたまちづくりの方針図をお示ししており、駅南側については、駅前空間の再編により、鉄道新規ネットワークの連携強化等の交通結節点としての機能強化を図るものとして位置づけるとともに、駅南北間及び中心部から後背地への連携を図るデッキレベルでの都市軸を位置づけ、南北のにぎわい核を結ぶことでまち全体のにぎわいを創出するものとしています。</p>	D

7 その他について(11件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
1	<p>パワポ資料でポイント列挙の部分は文脈を読みづらかった。文章で説明すべきところは丁寧に説明してほしい。</p>	<p>本基本的考え方(案)については、多くの皆様に読んでいただけるよう、本編(全56ページ)とは別に、概要を取り纏めた「概要版(全18ページ)」や、要点のみを示した「リーフレット」を作成したところです。</p> <p>いただいた御意見は、今後の資料作成にあたり、参考にさせていただきます。</p>	D
2	<p>他の資料(公共ホールの最適化に向けた取組方針案、モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組方針案)も一緒に検討しないといけなかったが、この3つのうち新百合ヶ丘に関しては、本案が最上位の考え方なのか、関係性を教えてほしい。</p>	<p>「モデル4地域における資産保有の最適化に向けた取組方針」では、まちづくりに関する方針等が策定されている区域内の施設については、当該方針等に沿って最適化に向けた検討を進めることとしており、麻生区役所、麻生市民館・図書館、麻生休日急患診療所については、本基本的考え方に基づき、取組を推進することを記載しております。</p> <p>なお、新百合ヶ丘駅周辺のホールについては、「公共ホールの最適化に向けた取組方針」において、最適化に向けた取組を進める施設としていませんが、本基本的考え方に基づく取組の状況などに応じ、他のホールへの影響等を勘案しながら、適宜・適切に最適化に向けた調整を行います。</p>	E
3	<p>柿生駅前の再開発、まちづくりを進めて欲しい。</p>	<p>柿生駅周辺では、地元の権利者で構成される準備組合により、柿生駅前南地区市街地再開発事業に向けた取組が進められているところです。本市としては、柿生駅周辺は道路などの都市基盤が脆弱であるなどの課題があると認識していますので、柿生駅前南地区市街地再開発事業により地域課題である都市基盤の整備や防災力の向上に取り組むとともに、当地域が有する地域特性を生かしながら、まちの魅力が高められるよう、準備組合と連携しながら取組を進めてまいります。</p>	E
4	<p>動物(ペット)と暮らすことが街の文化になる駅前をめざし、子ども・高齢者・単身者・ペットオーナーが自然に交わるまちにしてほしい。動物たちが地域住民の交流に寄与し、広場に集まれる動線が作られることを期待する。</p>	<p>本基本的考え方においては、動物(ペット)の対応については検討していませんが、いただいた御意見については、今後必要に応じて検討してまいります。</p>	E

7 その他について(11件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
5	<p>丘陵地の土砂災害危険性やスプロール、多摩川沿いの浸水などの問題もあり、川崎市のやるべきことは山積している。</p>	<p>本市では、丘陵地における土砂災害の危険性、市街地のスプロール化、多摩川沿いの浸水リスクなど、都市の安全性と持続可能な発展に関わる重要な課題として認識しており、順次対策を進めています。引き続き、地域の実情に応じた防災・減災施策の強化、土地利用の適正化、水害リスクの低減などに取り組んでまいります。</p>	E
6	<p>本パブリックコメントが全体の中でどのように位置づけられているのか。 区民全体を対象とした説明会（懇談会）と意見交換が必要だと思う。それはいつ頃を予定しているのか。</p>	<p>本パブリックコメントは、新百合ヶ丘駅周辺のより魅力的な広域拠点の形成に向けて、交通環境の改善や公共施設の建替えなどのまちづくりを進めていく上で、市民の皆様と共有するため、本基本的考え方（案）を作成し、市民の皆様からの御意見を募集するものです。 本基本的考え方（案）の作成にあたっては、麻生区民を対象としたワークショップや駅周辺の各種イベントなどの様々な機会を活用し、市民意見を把握してきました。今後も引き続き、本市ホームページでの意見募集をはじめ、ワークショップや駅周辺の各種イベントの活用、説明会の開催など、検討の段階に応じた適切な方法で市民の皆様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	D
7	<p>今後の市民館・図書館のあり方での位置づけについて、だれもが気軽に行きやすい施設であることは前提だが、新百合ヶ丘にある麻生図書館と柿生分館、あるいは、麻生市民館と岡上分館だけでは、人口18万人の麻生区民のだれもが「行きやすい・参加しやすい」とはならない。麻生図書館、柿生分館、麻生市民館、岡上分館がカバーしきれない、歩いてはいけない地域にも、将来的に図書館分館、市民館分館の設置を検討してほしい。</p>	<p>社会教育施設につきましては、既存の市民館、図書館及び分館を拠点として市民サービスを展開しており、新たな施設整備を行う予定はございませんが、学校施設の有効活用の推進や、令和6年10月から本格実施している「かわさき電子図書館」などICTを活用した取組等により、市民の身近な場所での生涯学習施策の取組を進め、引き続き、市民の主体的な学びや活動を支援してまいります。</p>	E

7 その他について(11件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
8	<p>駅周辺の「交通渋滞」「にぎわいの不足」「建物の高経年化」問題は駅周辺全体で再開発のビジョンを作る必要があると思う。なぜ「北側地区」だけなのか知りたい。</p> <p>また、市長は「7つの好循環」を掲げているが、「北側」開発との関係はあるのか。何がどうなれば「好循環」になるのか丁寧に説明してほしい。</p>	<p>令和7年3月に策定した「新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針」において、駅北側については交通環境の改善に向けた早急な対応が必要なことから、戦略的誘導エリアを中心とした一体的かつ効果的なまちづくりを先行的に検討することとしており、本基本的考え方(案)は、駅北側地区の課題である「交通環境を改善する都市基盤整備」や「高経年化した区役所等の公共施設の建替え」及び「にぎわいや魅力を創出する都市機能誘導」に向けた基本的考え方を取りまとめております。</p> <p>また、本市の強みである産業、経済、利便性の高いまちづくり等を強化し、まちを一層成長させる取組を積極的に進めることで、本市財政にも好影響を与え、市民生活の向上を通じてまちの成熟につながるとともに、成熟した市民の力はさらなる成長を促すなど、好循環を生み出すものと考えております。こうした好循環を生み出し、将来も持続可能な都市をつくるための取組の一つとして、拠点駅周辺などのまちづくりを着実に進めていくことが重要と考えており、本市の広域拠点である新百合ヶ丘駅周辺のまちの課題解決に向けて、駅北側地区のまちづくりを進めていくものです。</p>	D
9	<p>市長は「ハード面でのまちづくり」と同時に「産業の大転換」を主張し、臨海部再開発、新川崎や中原の量子コンピューターを紹介している。これらの構想と、各地でのハード面のまちづくりとの関係はあるのか。</p>	<p>本市では、総合計画において基本目標として「力強い産業都市づくり」を掲げ、基本政策の一つとして「活力と魅力にあふれる力強い都市づくり」をめざすこととしております。</p> <p>こうした基本政策に基づき「新たな産業の創出と革新的な技術による生活利便性の向上」や「臨海部の活性化」を政策として位置づけ、量子コンピューティング技術に関する取組や臨海部の基幹産業の動向を踏まえた新産業創出拠点の形成等に関する取組を進めております。</p> <p>また、「魅力ある都市拠点の整備」を政策として位置づけ、新百合ヶ丘駅周辺地区をはじめとする広域拠点の整備に関する取組などを推進していくこととしております。</p>	E

7 その他について(11件)

No.	意見の要旨	市の考え方	区分
10	<p>市民意見把握の概要について、市民の意見を代表しているとどう判断したのか。「意見が多かった項目」や「主な意見」を選んだ視点はこういった視点で選んだのか。また、場所によっては麻生区民ではない利用者のほうが多かったのではないかと推測するが、その点は検証して市民意見として紹介しているのか。周辺住民とそうでない回答者の比較の分析はしたのか。区役所、市民館、図書館の利用者へは意見を聞いたのか。もし聞いていないならなぜか。また、今後聞く予定はあるか。</p>	<p>市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりに向けて、新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりに関する市民意見を把握することを目的として、様々な手法により意見聴取を実施してきました。具体的には、区民を対象とした「区民アンケート」や「駅周辺住民アンケート」などを実施するとともに、来街者や在勤者なども対象に「各イベント等での意見聴取」や「ワークショップ」などによる意見聴取、その他に「まちづくり方針」策定時のパブリックコメントなど多角的な視点での意見聴取を実施し、その結果として、新百合ヶ丘駅北側地区のまちづくりにおいて検討すべき具体的なキーワードを取りまとめております。</p> <p>また、公共施設の建替えに向けて、令和9（2027）年度に「駅北側の公共施設の基本計画」の策定をめざしており、同基本計画の策定に向けては、引き続き、本基本的考え方を基に、ワークショップや駅周辺の各種イベントなどの様々な機会を活用し、市民の皆様の意見を伺いながら、市北部の広域拠点にふさわしいまちづくりを進めてまいります。</p>	D
11	<p>「川崎市中心卸売市場北部市場機能更新事業」で計画される施設との連携を図られるとよい。延伸されるブルーライン乗客数や東名高速川崎ICからの自動車利用客の増加が見込めるはずであり、新百合ヶ丘駅としてのまちづくり・交通環境整備に多大な影響を与えると考える。</p>	<p>北部市場については、「川崎市中心卸売市場北部市場機能更新に係る基本計画」に基づき、食品流通拠点としての機能強化、市民に親しまれ地域に根ざした市場の実現等に向け、取組を進めているところです。</p> <p>同市場機能更新事業との連携については、いただいた御意見も踏まえながら、今後の検討の深度化に向けて参考とさせていただきますが、新百合ヶ丘駅の特長や今後の駅利用者数の増加を見据えて、引き続き、公共交通の利用促進や駅利用者が安全・安心・快適に移動できる地域交通環境の形成をめざしてまいります。</p>	E

5 案からの変更点

(1)パブリックコメントによる市民意見を踏まえた変更(※下線は変更箇所)

変更の概要	変更内容【変更後】	【変更前】
<p>新百合ヶ丘のまちづくりにおける市民意見募集に関する御意見を踏まえ、引き続き意見募集を行う旨の文章を追記</p>	<p>(本編 P57、概要版 P19)</p> <p><u>【新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりに関する御意見について】</u></p> <p><u>新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりについて、引き続き、市民の皆様からの御意見を募集しておりますので、御意見のある方は下記宛先まで郵送・FAX・メールにて送付くださいますようお願いいたします。</u></p> <p><u>送付先:川崎市役所まちづくり局市街地整備部地域整備推進課</u></p> <p><u>郵送 :川崎市川崎区宮本町 1</u></p> <p><u>F A X : 0 4 4 - 2 0 0 - 0 9 8 4</u></p> <p><u>E-mail:50tisei@city.kawasaki.jp</u></p>	<p>(記述なし)</p>
<p>都市環境において記載している用語に関する御意見を踏まえ、「第6章 都市機能誘導の考え方」の「4 都市の魅力を高める都市環境の整備」の「4-2 生物多様性の豊かなまちづくりの推進」中に用語の解説を追記</p>	<p>(本編 P51)</p> <p><u>※「バイオフィリックデザイン」・・・「人間には“自然とつながりたい”という本能的欲求がある」という概念を空間に反映し、建築物に植物、自然光、水、香り、音等の自然環境の要素を反映したデザインを指します。バイオフィリックデザインを屋内外に関わらず、建築や都市空間に取り入れることにより、「幸福度の向上」、「生産性の向上」、「創造性の向上」などの様々な効果が期待されます。</u></p>	<p>(記述なし)</p>

その他、用語・用字の修正など、所要の整備を行っています。